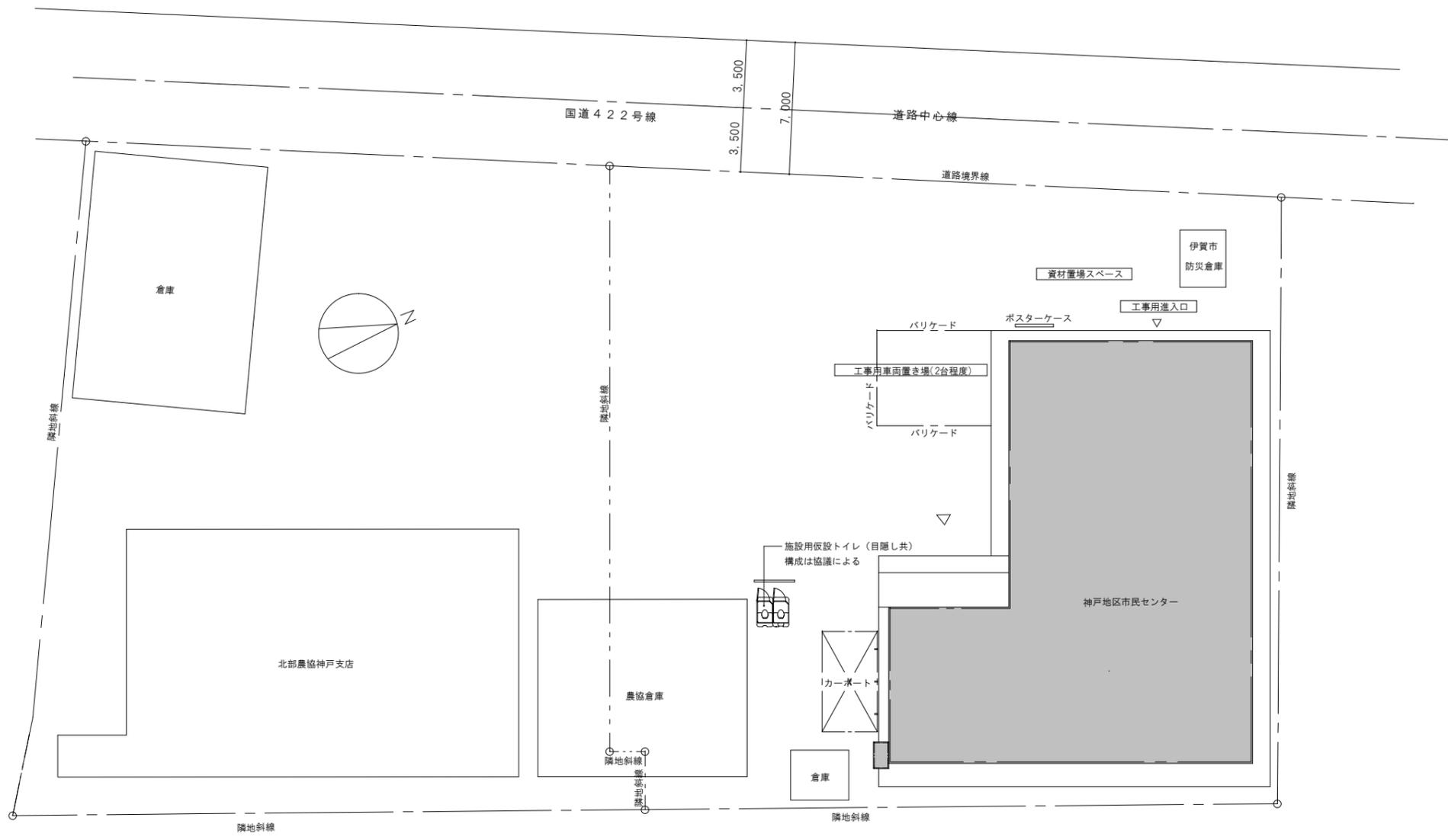


令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

1	改修工事特記仕様書（建築） i	1 4	天井伏図・部分詳細図
2	改修工事特記仕様書（建築） ii	E 1	改修工事特記仕様書（電気）
3	配置図兼仮設計画図	E 2	コンセント設備 平面詳細図（改修前・後）
4	仕上げ表	E 3	電灯設備 平面詳細図（改修前・後）
5	現況平面図	E 4	弱電設備 平面詳細図（改修前・後）
6	現況平面詳細図	E 5	弱電設備 改修後 全体平面図
7	改修後平面詳細図	M 1	特記仕様書（機械）
8	断面詳細図（現況・改修後）	M 2	機器・器具表
9	現況展開図	M 3	配置図（給排水衛生設備）
1 0	改修後展開図 i	M 4	現況平面詳細図（給排水衛生設備）
1 1	改修後展開図 ii	M 5	改修後平面詳細図（給排水衛生設備）
1 2	改修後展開図 iii	M 6	現況平面詳細図（換気設備）
1 3	建具表・建具図	M 7	改修後平面詳細図（換気設備）



件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事 図名 配置図兼仮設計画図	縮尺 1:200 (A2) 1:282 (A3)	A2 3
	(Blank space for additional information)	

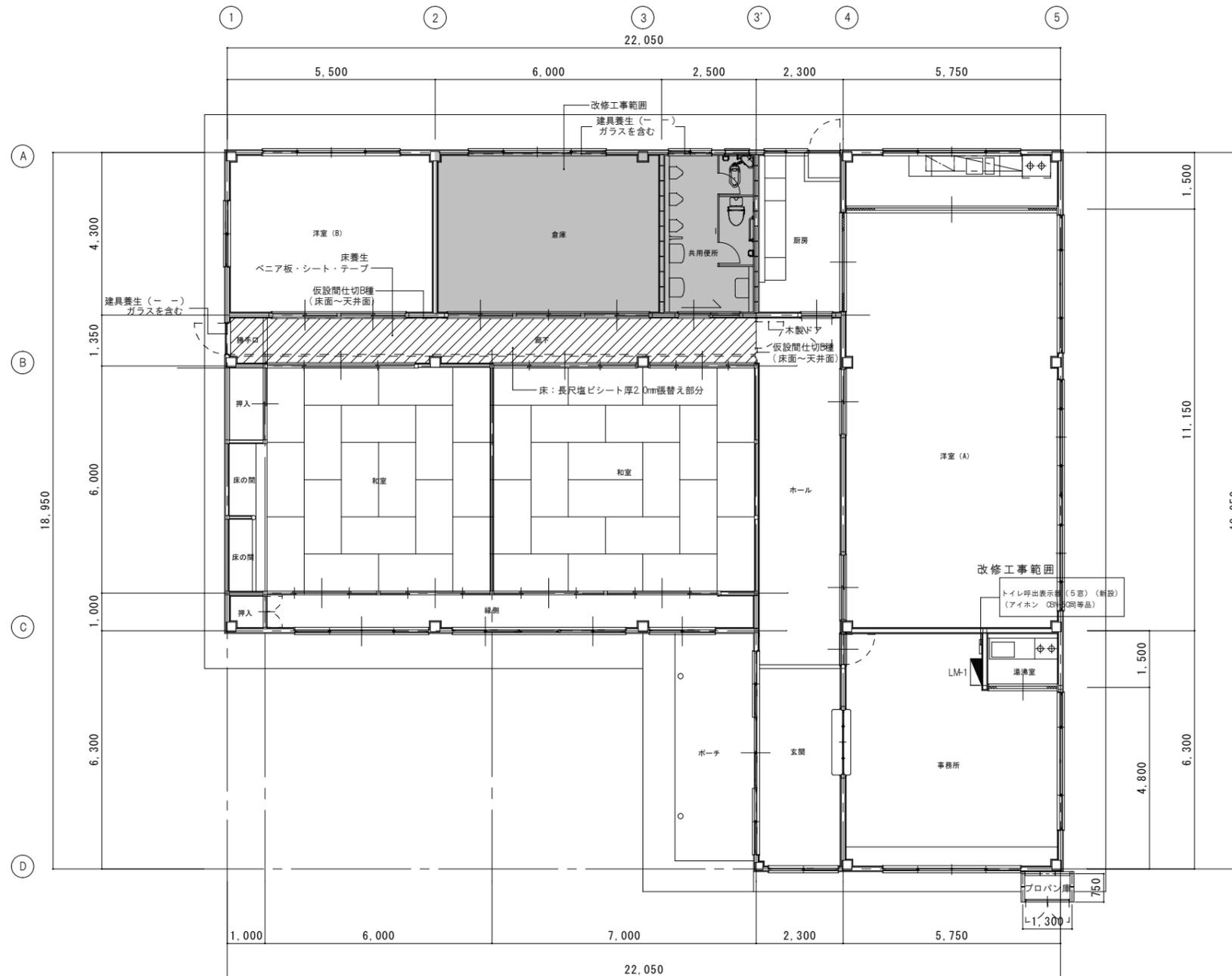
■ 改修前

室名	床	巾木	腰壁	天井	CH	備考
廊下	長尺塩ビシート厚2.0mm貼り（一部撤去） 土間コンクリート厚100mmモルタル厚30mm下地	ソフト幅木H=75mm （撤去）	ビニールクロス貼り（一部撤去） プasterボード厚9.0mm下地（撤去）	ロックウール吸音板厚9.0mm貼り（一部撤去） プasterボード厚9.0mm捨貼り（一部撤去）	2,600	
便所	モルタル下地モザイクタイル貼り（撤去） 土間コンクリート厚100mmモルタル厚30mm下地（撤去）	100角タイル貼り （撤去）	100角タイル貼り（撤去） モルタル下地（CB部）（撤去）・ラスモルタル下地（木部）（撤去）	プasterボード厚9.0mm目透し貼りEP（撤去）	2,400	洋風便器・小便器・洗面器・鏡・ペーパーホルダー マルチシンク・換気扇（全部撤去）
倉庫	長尺塩ビシート厚2.0mm貼り（一部撤去） 土間コンクリート厚100mmモルタル厚30mm下地（一部撤去）	ソフト幅木H=75mm （一部撤去）	プasterボード厚9.0mm目透し貼りEP（一部撤去）	ジプトーン厚9.0mm貼り（一部撤去）	2,600	収納階段・壁面収納（移設）

■ 改修後

室名	床	巾木	腰壁	天井	CH	備考
廊下	長尺塩ビシート厚2.0mm張替え（一部） 下地現状のまま	ソフト幅木H=75mm （一部張替え）	ビニールクロス張替え（一部） 石膏ボード厚12.5mm*2重下地（一部）	ロックウール吸音板厚9.0mm貼り（一部） プasterボード厚9.5mm下地（一部）	2,600	サインプレート・消毒液置台・天井点検口1か所追加
男性用トイレ	長尺塩ビシート厚2.5mm貼り 土間コンクリート厚100mmモルタル厚30mm下地	メタル幅木H=60mm	メラミン不燃化粧板厚3.0mm貼り シーリング石膏ボード厚12.5mm下地	化粧石膏ボード厚9.5mm貼り	2,400	洋風便器・小便器・洗面器・鏡・手すり・ペーパーホルダー フック・汚垂石・トイレブース・換気扇・シートペーパーホルダー
みんなのトイレ	長尺塩ビシート厚2.5mm貼り 土間コンクリート厚100mmモルタル厚30mm下地	メタル幅木H=60mm	メラミン不燃化粧板厚3.0mm貼り シーリング石膏ボード厚12.5mm下地	化粧石膏ボード厚9.5mm貼り	2,400	車椅子対応腰掛便器・バリアフリー洗面器・はね上式手すり ベビーキープ・ペーパーホルダー・鏡・コールボタン・換気扇
女性用トイレ	長尺塩ビシート厚2.5mm貼り 土間コンクリート厚100mmモルタル厚30mm下地	メタル幅木H=60mm	メラミン不燃化粧板厚3.0mm貼り シーリング石膏ボード厚12.5mm下地	化粧石膏ボード厚9.5mm貼り	2,400	洋風便器・洗面器・鏡・手すり・ペーパーホルダー マルチシンク・フック・トイレブース・換気扇・シートペーパーホルダー
倉庫	長尺塩ビシート厚2.0mm張替え（一部） 土間コンクリート厚100mmモルタル厚30mm下地	ソフト幅木H=75mm （一部張替え）	ケイ酸カルシウム板厚10mm貼りEP（一部）	化粧石膏ボード厚9.5mm貼り（一部）	2,600	壁面収納（復旧一部修理）

	件名	令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事		A2
	図名	仕上げ表	縮尺 1:100(A2) 1:141(A3)	



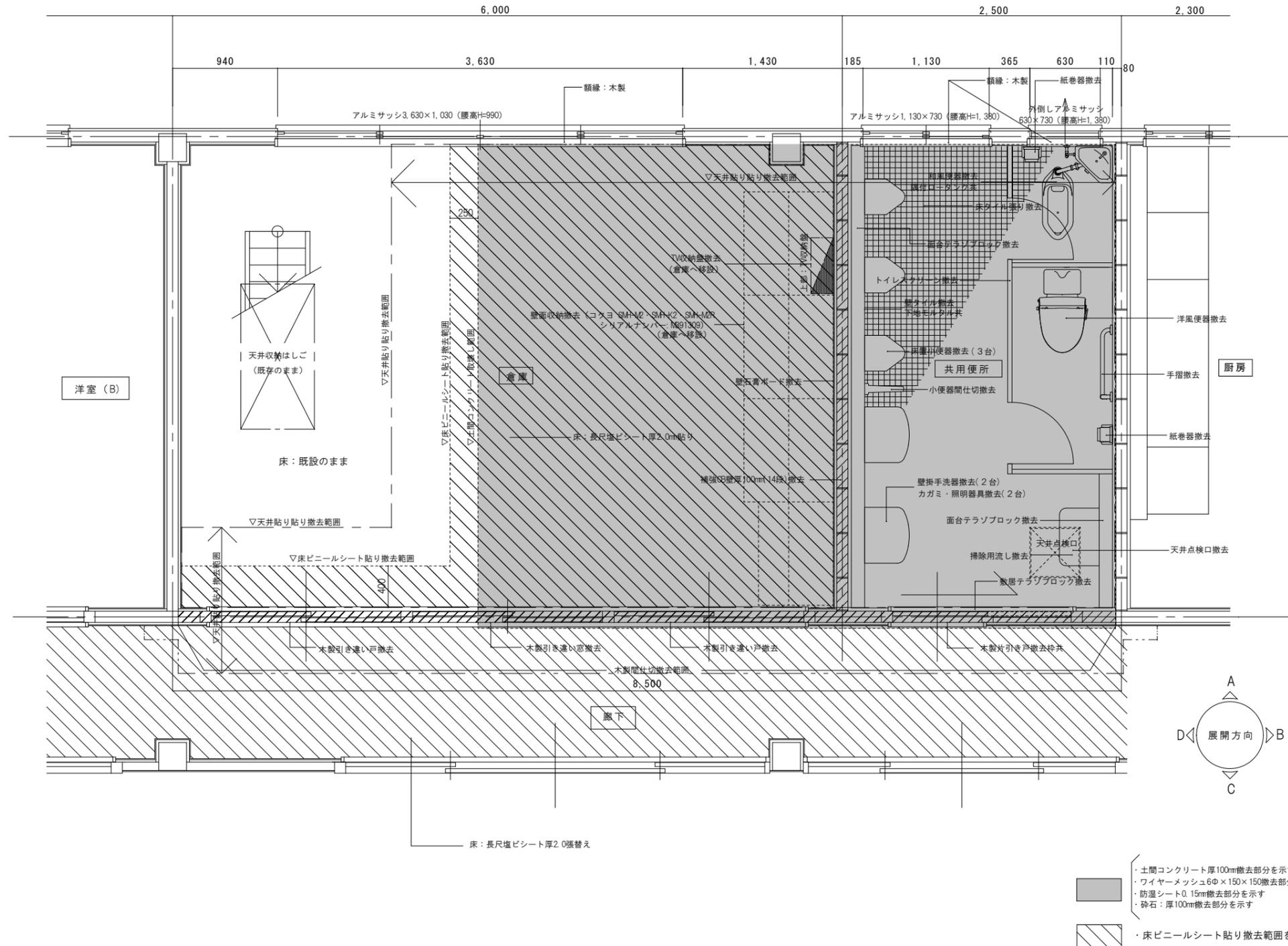
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 現況平面図

縮尺 1: 100(A2)
1: 141(A3)

A2

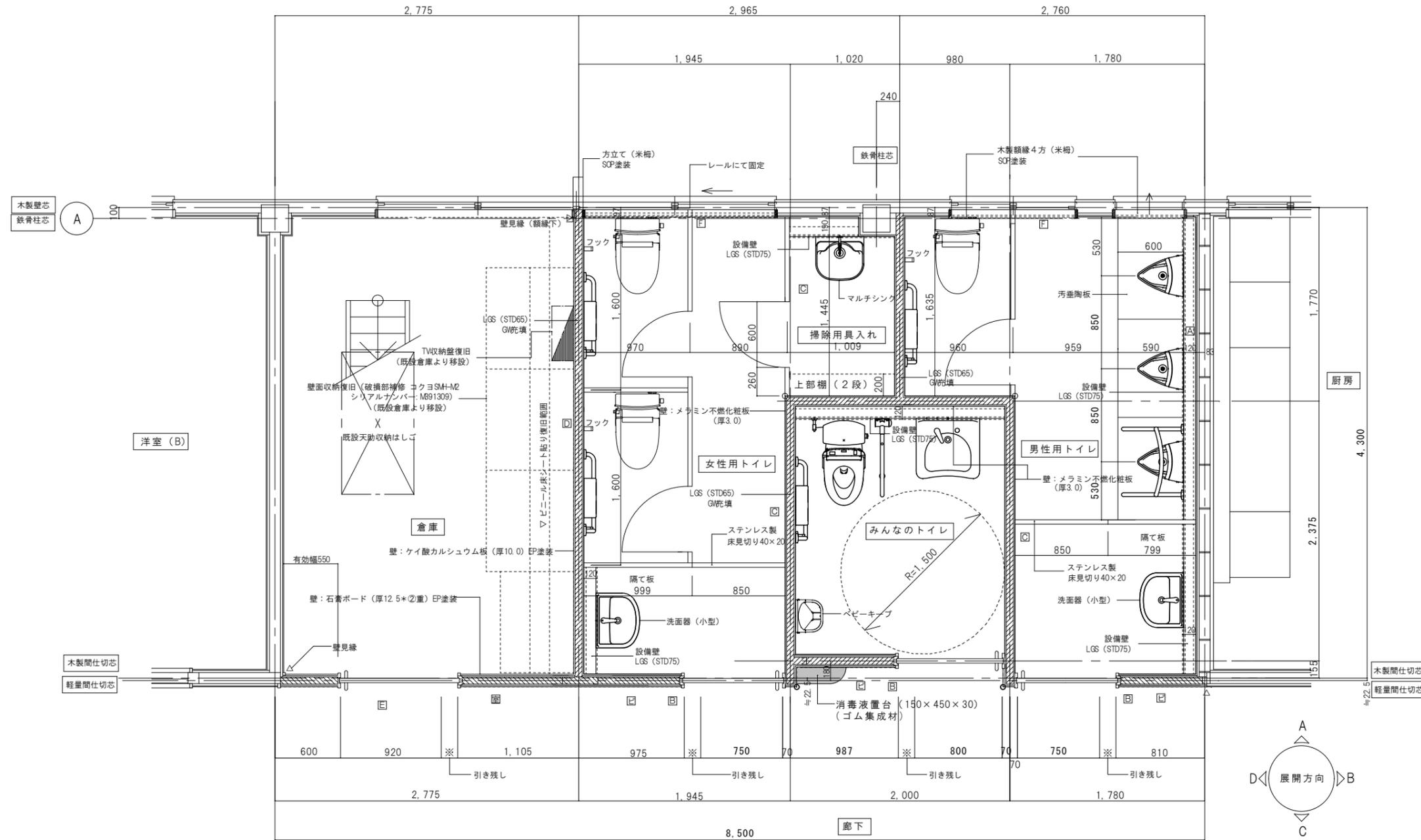
5



件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 現況平面詳細図

縮尺 1: 30(A2)
1: 42(A3)



下地	仕上	GW充填	下地	仕上	GW充填
△ RC・CB (既存)	(-) シーリング石こうボード (厚12.5) GL工法+メラミン不燃化粧板 (厚3.0)	○	□ LGS (STD65)	(片面) シーリング石こうボード (厚12.5) +メラミン不燃化粧板 (厚3.0) (片面) ケイ酸カルシウム板 (厚10.0) +EP塗装	○
□ LGS (STD65)	(片面) 石こうボード (厚12.5) +シーリング石こうボード (厚12.5) +メラミン不燃化粧板 (厚3.0) (片面) 石こうボード (厚12.5*②重) +ビニルクロス	○	□ LGS (STD65)	(片面) 石こうボード (厚12.5*②重) +EP塗装 (片面) 石こうボード (厚12.5*②重) +ビニルクロス	
□ LGS (STD65)	(両面) シーリング石こうボード (厚12.5) +メラミン不燃化粧板 (厚3.0)	○	□ 木下地 (既存)	(片面) シーリング石こうボード (厚12.5) +メラミン不燃化粧板 (厚3.0) 網線: 45×21 ④55	

- ⊙ コーナー用塩ビアングル (15mm)
- ⊠ サインプレート アルミニウム 平付タイプ H80*W250
- ⊞ 出隅用アルミジョイナー
- ⊡ サインプレート アルミニウム 突出タイプ H200*W200 (SK-SS-2T 表示板ステンレス製 神栄ホームクリエイティブ (株) 同等品)

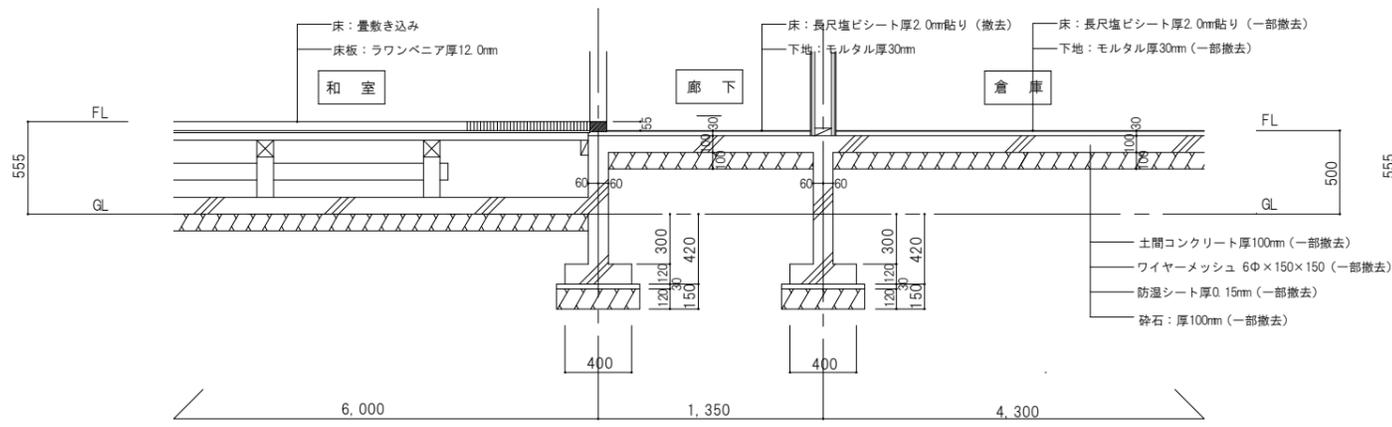
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 改修後平面詳細図

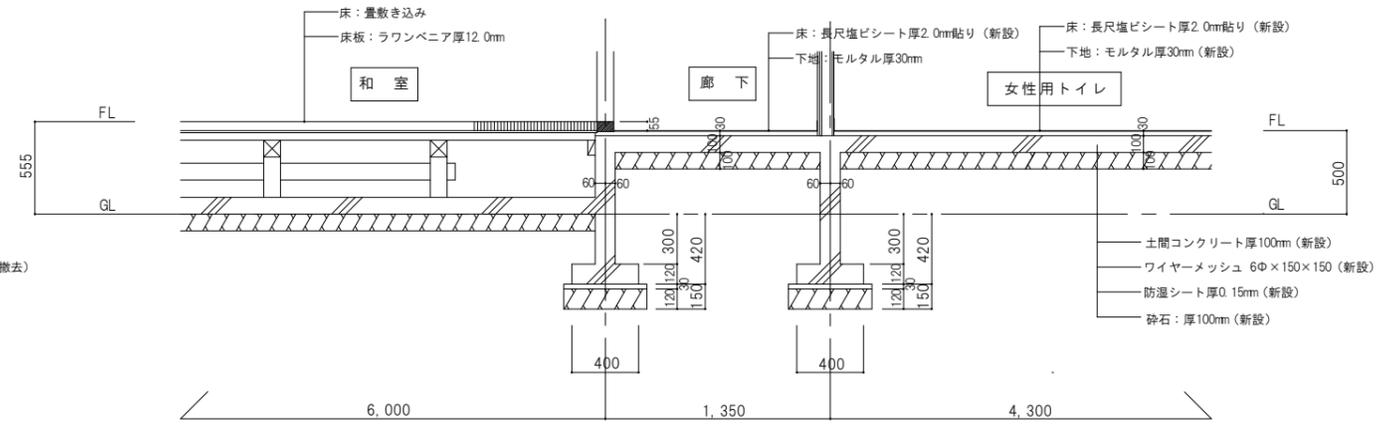
縮尺 1:30(A2)
1:42(A3)

A2

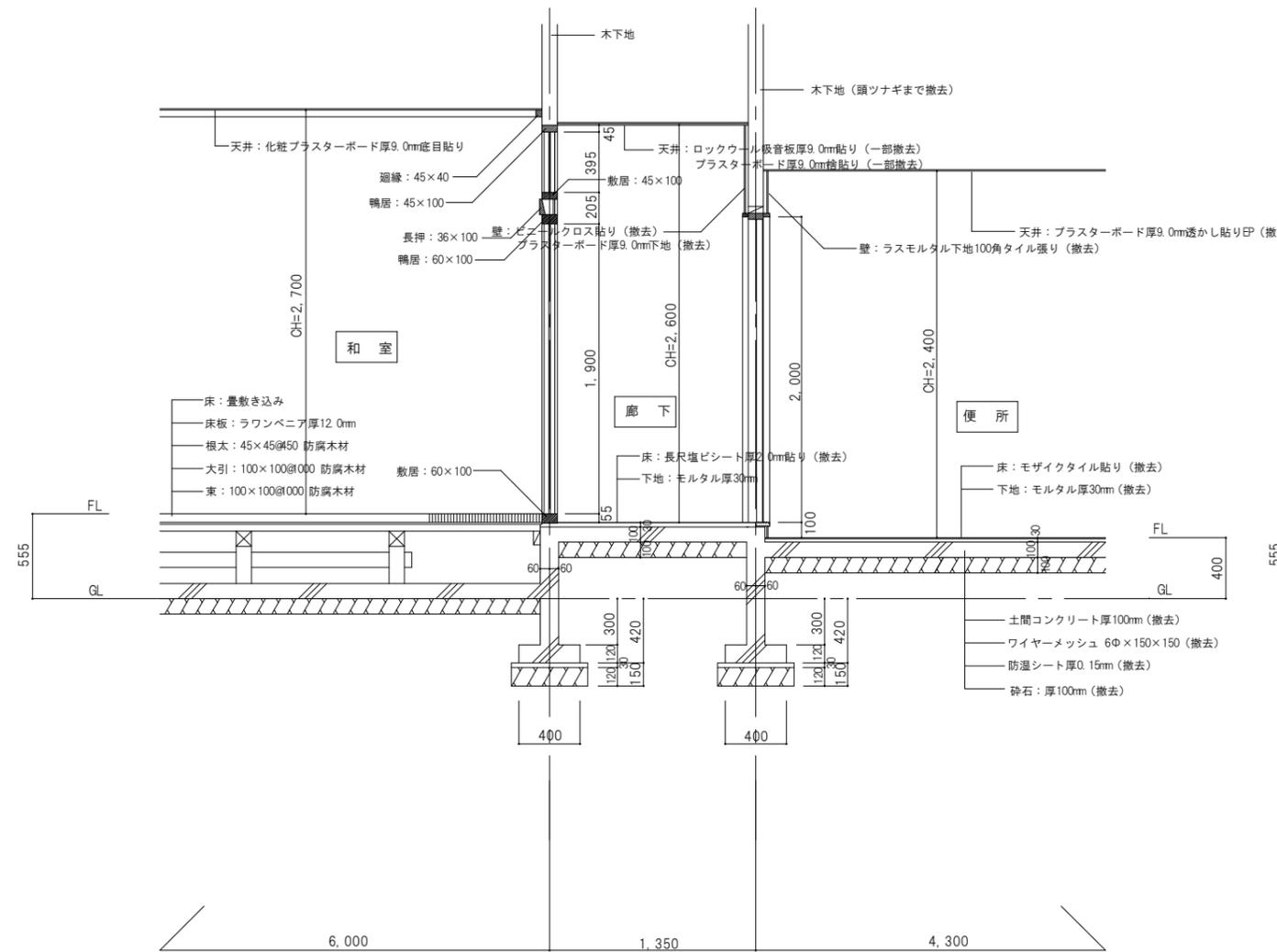
7



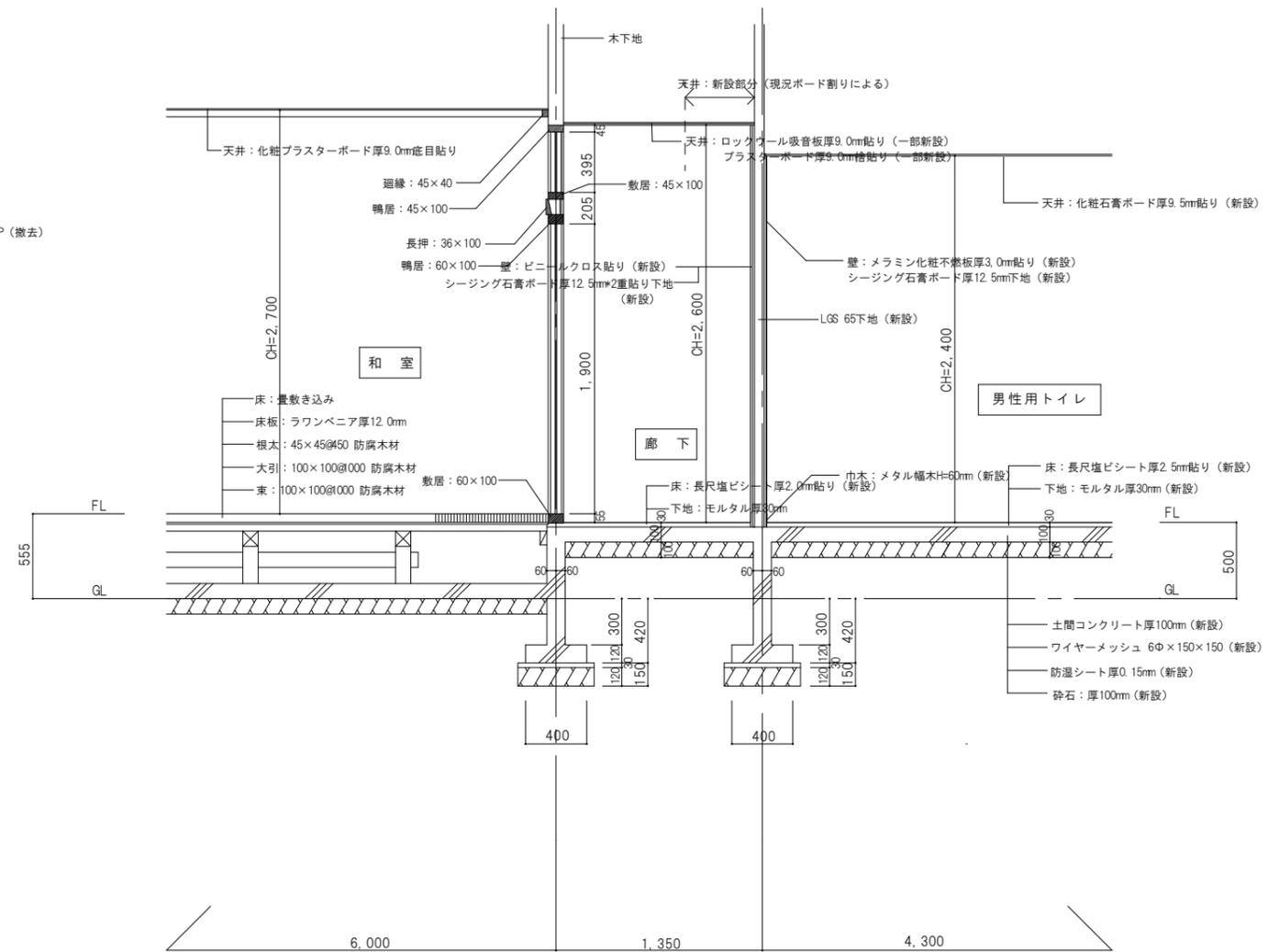
現況断面詳細図 倉庫 1:30



改修後断面詳細図 女性用トイレ 1:30



現況断面詳細図 便所 1:30



改修後断面詳細図 男性用トイレ 1:30

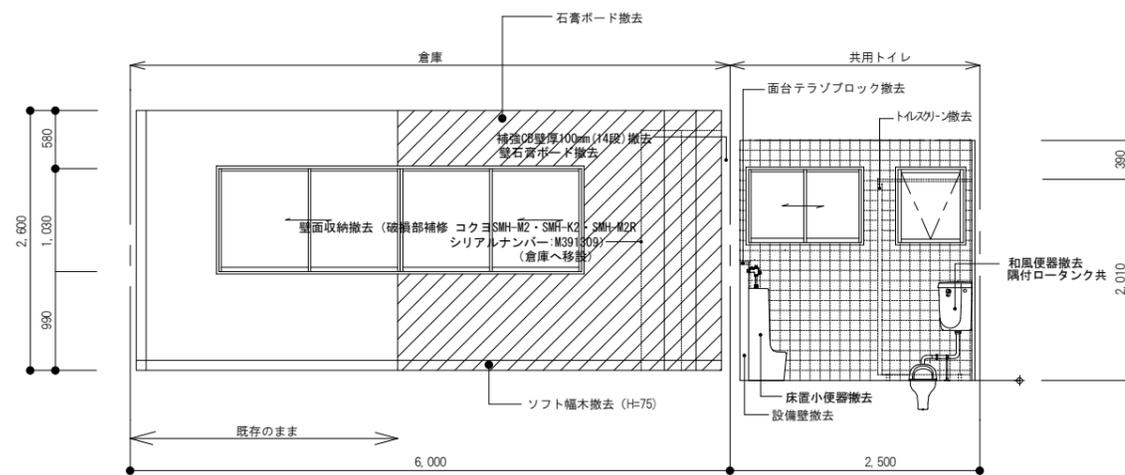
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 断面詳細図 (現況・改修後)

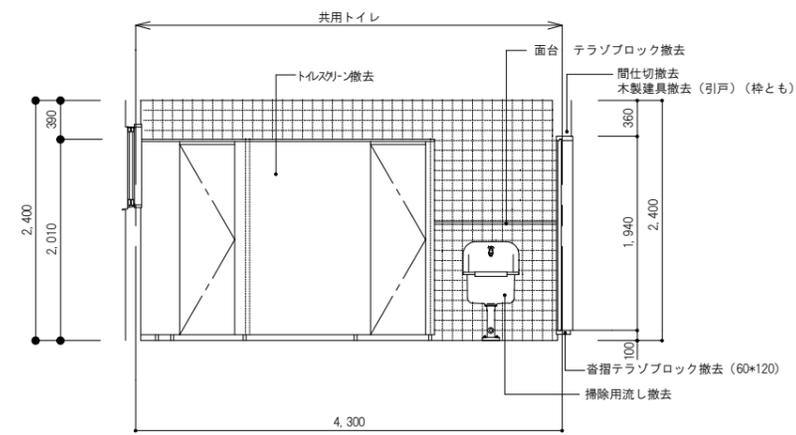
縮尺 1:30(A2)
1:42(A3)

A2

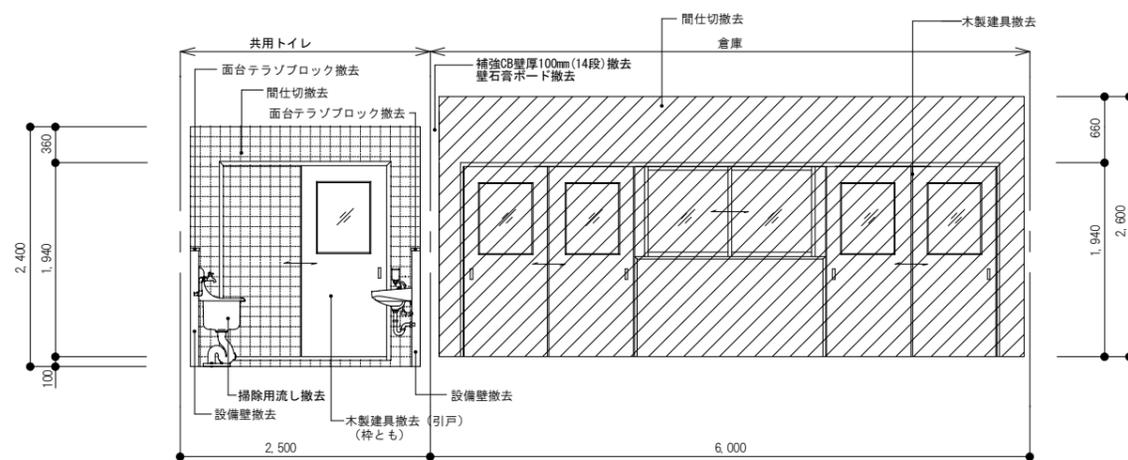
8



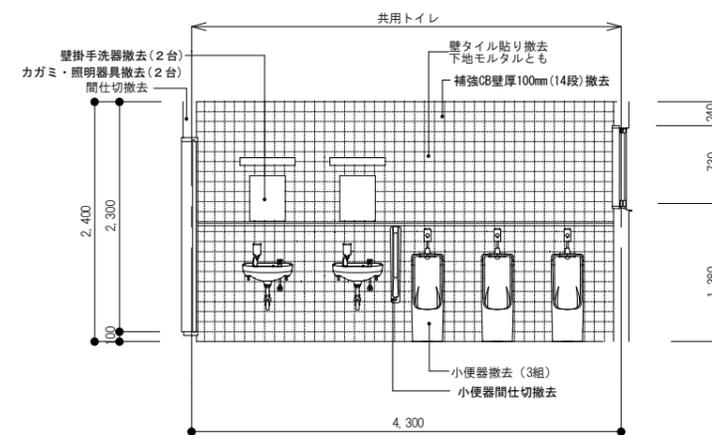
展開図 A



展開図 B



展開図 C



展開図 D

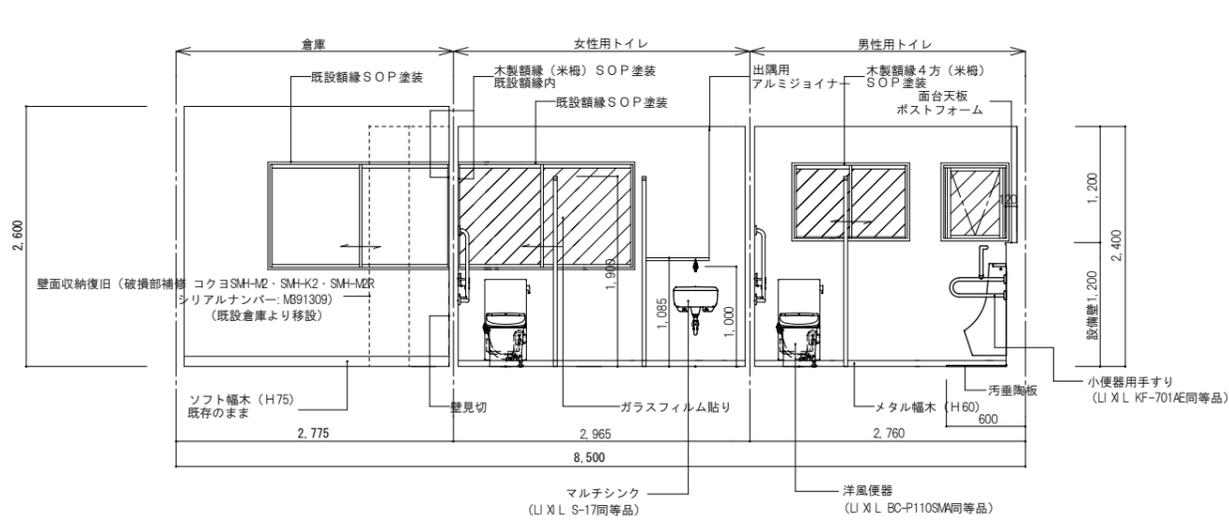
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 現況展開図

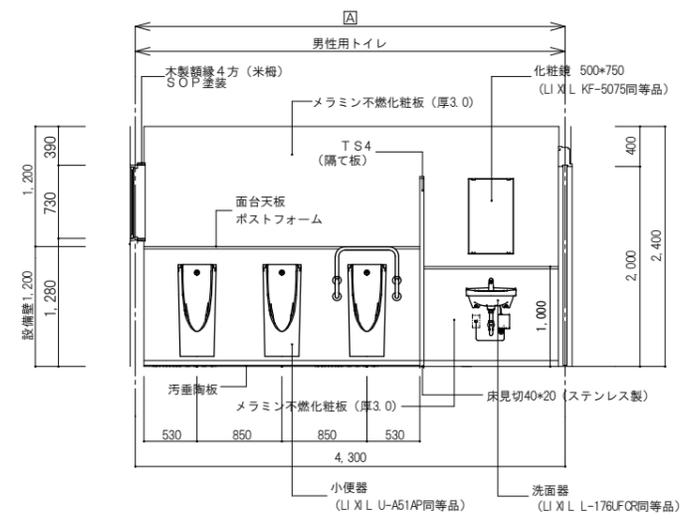
縮尺 1: 50(A2)
1: 70(A3)

A2

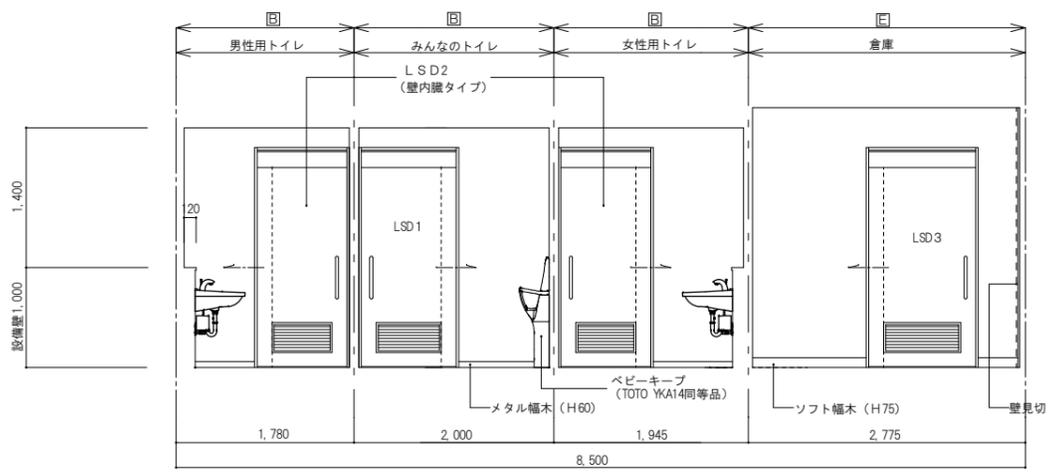
9



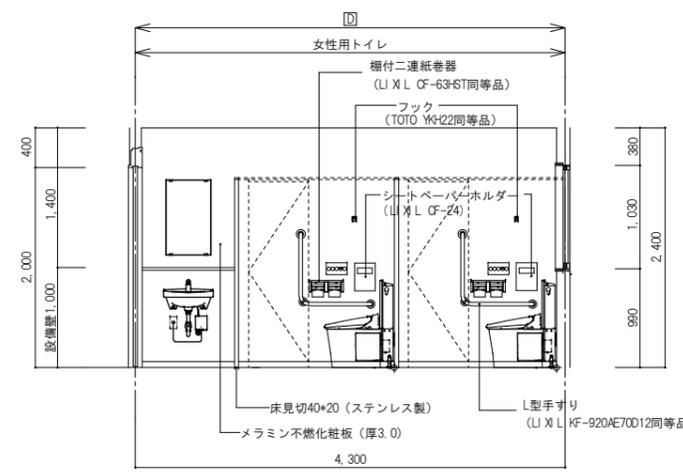
展開図 A



展開図 B



展開図 C



展開図 D

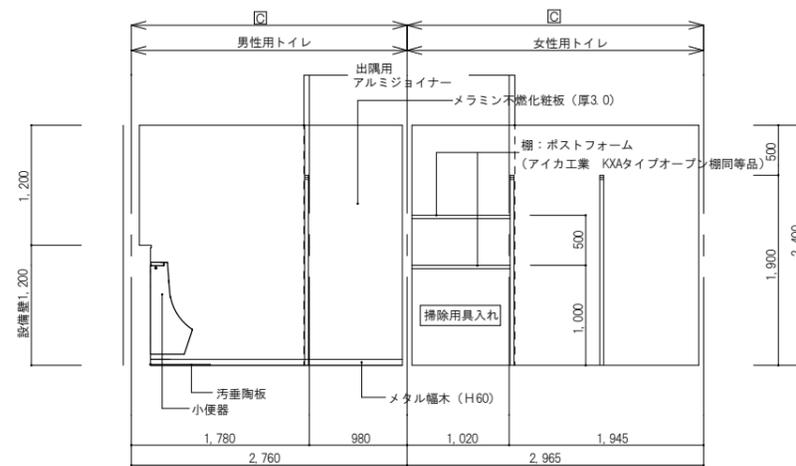
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 改修後展開図 i

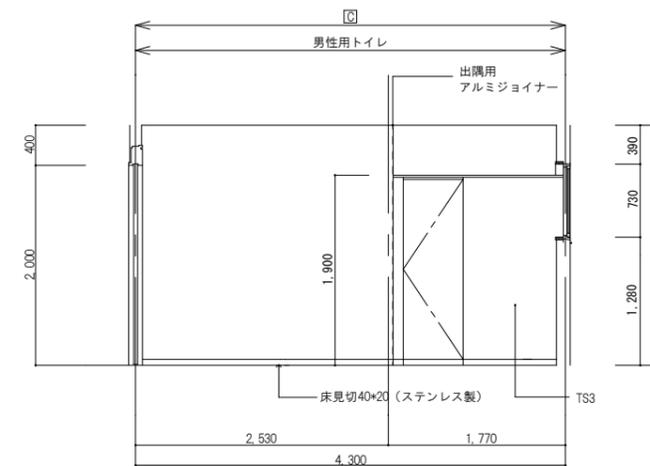
縮尺 1:50 (A2)
1:70 (A3)

A2

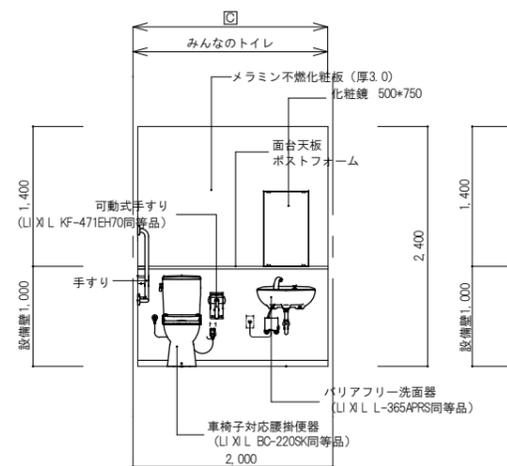
10



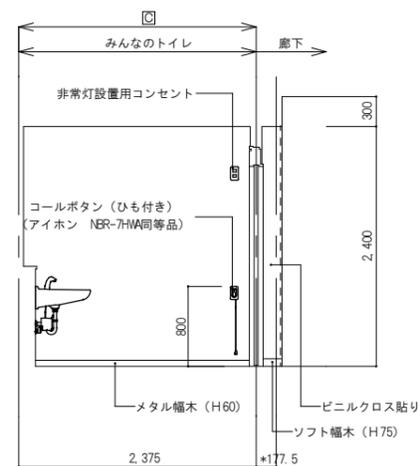
展開図 C



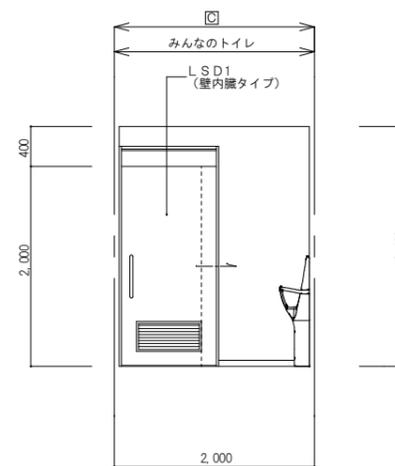
展開図 D



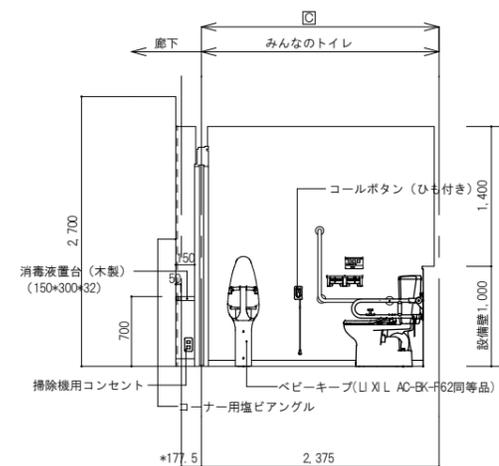
展開図 A



展開図 B



展開図 C

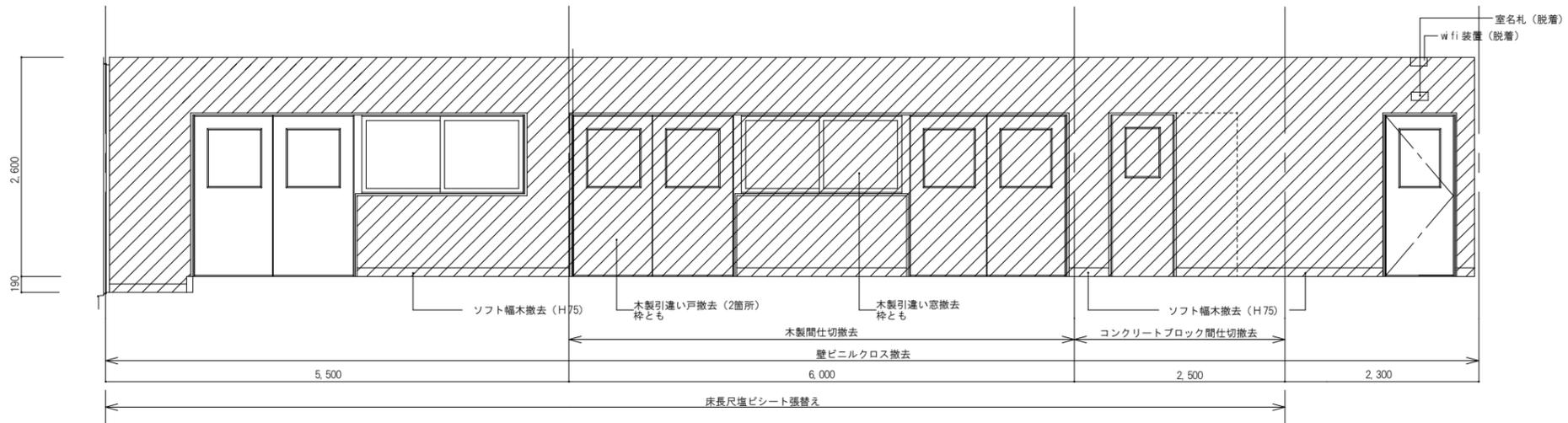


展開図 D

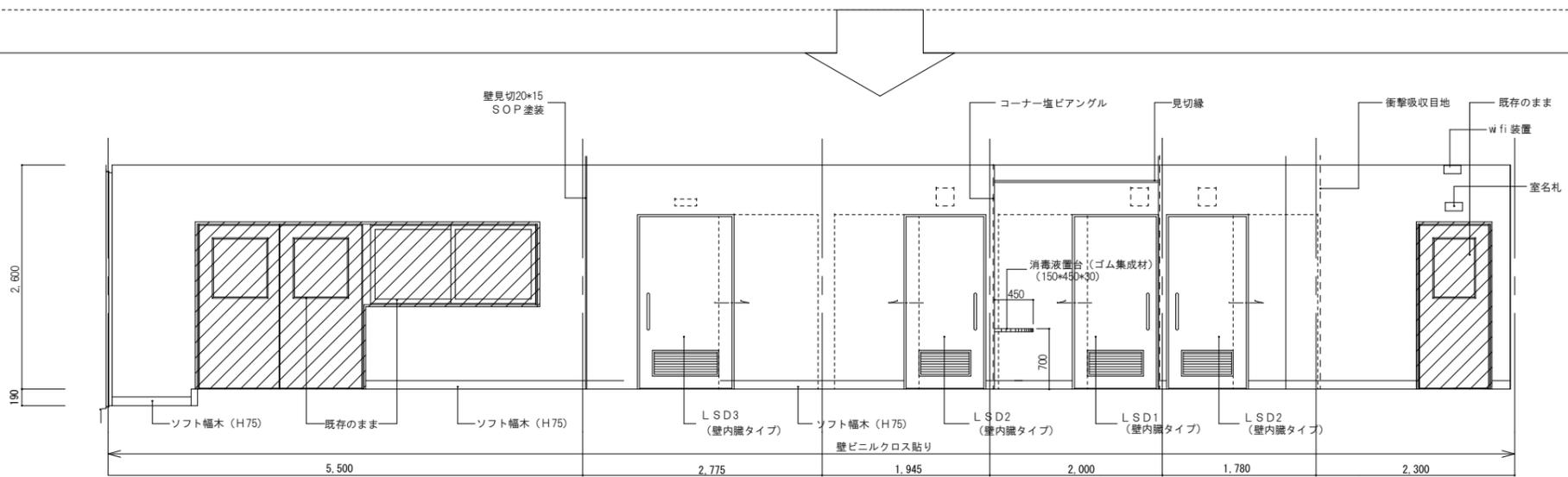
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 改修後展開図 ii

縮尺 1: 50(A2)
1: 70(A3)



展開図 A



展開図 A

件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 改修後展開 iii

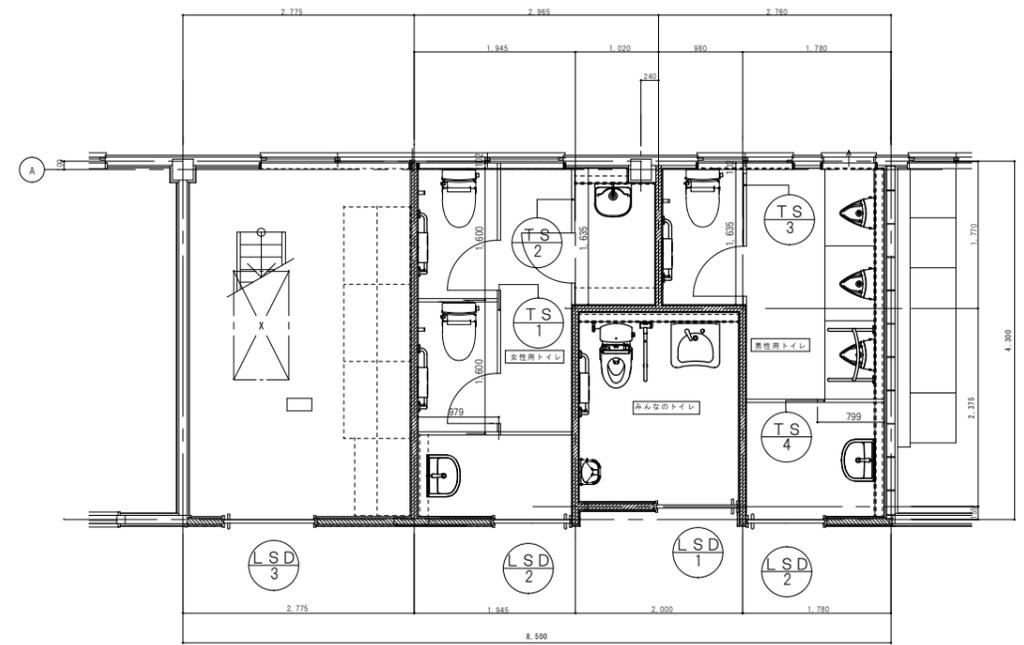
縮尺 1: 50(A2)
1: 70(A3)

A2

12

符号・数量	(LSD) 1 箇所	(LSD) 2 箇所		
使用箇所・防火仕様	みんなのトイレ	男性用トイレ・女性用トイレ		
姿 図				
型式・防音・エアタイト仕様	軽量鋼製片引き自閉式ハンガードア（壁内蔵タイプ）	軽量鋼製片引き自閉式ハンガードア（壁内蔵タイプ）		
寸法・見付・見込（枠見付・枠見込）	40	40		
材質・仕様	枠・扉：亜鉛めっき鋼板（扉芯材：ペーパーコア）	枠・扉：亜鉛めっき鋼板（扉芯材：ペーパーコア）		
仕 上	枠・扉：焼付塗装	枠・扉：焼付塗装		
ガラス・種類・ガラス押え	—	—		
建 具 金 物 （付 属 金 物）	レバーハンドル・点検カバー・エアクッション・表示錠・サムターン アルミレール・吊車・全開固定装置・ドアガイド 駆動装置・沓摺（SUS）・アルミガラリ	レバーハンドル・点検カバー・エアクッション・サムターン アルミレール・吊車・全開固定装置・ドアガイド 駆動装置・沓摺（SUS）・アルミガラリ		
備 考	参考：小松ウォール カームドア	参考：小松ウォール カームドア		
符号・数量	(LSD) 3 箇所	— 箇所		
使用箇所・防火仕様	倉庫	—		
姿 図				
型式・防音・エアタイト仕様	軽量鋼製片引き自閉式ハンガードア（壁内蔵タイプ）			
寸法・見付・見込（枠見付・枠見込）	40			
材質・仕様	枠・扉：亜鉛めっき鋼板（扉芯材：ペーパーコア）			
仕 上	枠・扉：焼付塗装			
ガラス・種類・ガラス押え	—			
建 具 金 物 （付 属 金 物）	レバーハンドル・点検カバー・エアクッション・サムターン アルミレール・吊車・全開固定装置・ドアガイド 駆動装置・沓摺（SUS）・アルミガラリ			
備 考	参考：小松ウォール カームドア			
符号・数量	(TS) 1 箇所	(TS) 2 箇所	(TS) 3 箇所	(TS) 4 箇所
使用箇所・防火仕様	女性用トイレ *	掃除用具入れ（女性用トイレ） *	男性用トイレ *	男性用トイレ *
姿 図				
型式・防音・エアタイト仕様	トイレスクリーン	トイレスクリーン	トイレスクリーン	トイレスクリーン（隔て板）
寸法・見付・見込（枠見付・枠見込）	40mm	40mm	40mm	40mm
材質・仕様	芯材：ペーパーハニカムコア 枠：アルミ製	芯材：ペーパーハニカムコア 枠：アルミ製	芯材：ペーパーハニカムコア 枠：アルミ製	芯材：ペーパーハニカムコア 枠：アルミ製
仕 上	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 幅木：SUS製	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 幅木：SUS製	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 幅木：SUS製	表面材：高圧メラミン樹脂化粧板 幅木：SUS製
ガラス・種類・ガラス押え	—	—	—	—
建 具 金 物 （付 属 金 物）	表示付スライドロック・笠木・アジャスター 床レール・壁面レール・戸当り・非常時外開き仕様 アルミエッジ・丁番吊（コマニー）	笠木・アジャスター 床レール・壁面レール・戸当り アルミエッジ・丁番吊	表示付スライドロック・笠木・アジャスター 床レール・壁面レール・戸当り・非常時外開き仕様 アルミエッジ・丁番吊（コマニー）	笠木・アジャスター・床レール・壁面レール アルミエッジ
備 考	参考：小松ウォール サニティ（TB-GPR）	参考：小松ウォール サニティ（TB-GPR）	参考：小松ウォール サニティ（TB-GPR）	参考：小松ウォール サニティ（TB-GPR）

* LSD扉レバーハンドル色は黄色とする。



件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 建具表・建具図

縮尺 1: 60(A2)
1: 84(A3)

A2

13

電気設備工事特記仕様書

I 工事名称	令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事
II 工事場所	伊賀市 上神戸 地内
III 建物概要	

建物名称	構造	延面積 (㎡)	消法令の適用	備 考
神戸地区市民センター	鉄骨造 地上1階建て	329.65㎡		

IV 工事仕様

項 目	特 記 事 項
1. 施工基準	<p>図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国土交通省大臣官庁官庁整備部監修 「公共建築工事標準仕様書 最新版」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) ● 「公共建築設備工事標準仕様書 最新版」(電気設備工事編・機械設備工事編) ● 「公共建築改修工事標準仕様書 最新版」(電気設備工事編・機械設備工事編) ● 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」 最新版 ● 国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」 ● 電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準) ● 電力会社供給約款 ● 消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む) ● 電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 ● その他関連法規、関連諸基準
2. 一般事項	<p>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。</p> <p>設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生すると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。</p> <p>なお設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講ずること。</p> <p>他工事との取合いについては予め当該工事関係者において協議し、円滑な工事進捗を定めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。</p>
・施工計画等	<p>受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合施工計画書 ● 詳細施工図(施工図リストを含む) <p>なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。</p>
・工事使用材料等	<p>工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用機材届出書(メーカーリスト) ● 機器明細図 ● カタログ・製作図・その他諸資料 <p>なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー(参考)及び国土交通省大臣官庁整備部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿(最新版)又はこれらと同等以上のものとする。</p> <p>また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。</p>
・工程表	<p>関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。</p> <p>なお月間工程表には竣・届・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。</p>
・工事写真	<p>国土交通大臣官庁官庁整備部監修「工事写真の撮り方(改訂第3版)ー建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。</p> <p>なおCDの提出部数は「電子納品」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 代表写真(不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、撤出状況等)を抽出し、判相当サイズで印刷。(A4版用紙に両面印刷にて3枚/ページ)1部
・完成写真	<p>主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、判相当サイズで印刷する。</p> <p>(A4版用紙に3枚/ページ)1部</p> <p>撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。</p>
・完成書類	<p>工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。</p> <p>書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工事完成報告書、工事目的引渡書、完成写真 ● 製本図面(竣工図)：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 <p>竣工図は、原図サイズ及びA3縮小版を各2部・施工図は、原図サイズ1部。</p> <p>白焼き(青焼き不可)で文字消れのないこと。表紙(可能な範囲で背表紙にも)に「年度、工事名、工期、竣工図(又は竣工図)、受注者名」を印字(シール不可)すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 引渡目録、工事書類預り書 ● 工事書類(工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等) ● 工事書類(打合記録、工事材料搬入報告) ● 完成図書(試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等) ● 官公署手続き書類等(検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等) ● その他監督員の指示する書類 <p>ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。</p> <p>なお、完成書類の著作権にかかる権利は発注者に移譲するものとする。</p>
・完成確認、完成検査時の電源確保	<p>機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。</p>
・施工条件	<p>監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。</p>
・事故の発生時	<p>工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。</p>
・発生材の処理等	<p>引き渡しを要するもの()</p> <p>上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。</p> <p>特別管理産業廃棄物 □ 変圧器 □ コンデンサ □ その他()</p> <p>処理方法 ■ 現場内の監督員の指定する場所へ保管</p> <p>なお施工に際して、PCB等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を見つけた場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。</p> <p>発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。また再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(マニフェストA、E票の写を監督員に提出する)</p>
・残土処分	<p>口構内敷きならし 口構外搬出(片道運搬距離 約 km)</p>
・電子納品	<p>工事完成図書は、竣工図・施工図のCADデータ(JWW)及びPDFを格納。</p>
・誰手続	<p>工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への誰手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。</p>
・消防提出書類	<p>消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成(電気設備図面の用意及び電気設備に関する部分の記述)を行うこと。</p>

項 目	特 記 事 項
・既設との取合い	<p>本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。</p>
・既設設備の調査	<p>既設設備の改修をきむ場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に十分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも総経路抗測定を行っておくこと。</p>
・工事中の保安管理	<p>新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。</p>
・不当介入を受けた場合の措置	<p>暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第2条第1項第1項第10号)を受けた場合の措置について</p> <p>(1) 受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第2条第1項第1項第8号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行うこと。</p> <p>(2) (1)により警察に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。</p> <p>(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p>
3. 耐震基準	<p>耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震設計基準及び関係法令平成8年版」(建設大臣官庁官庁整備部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修)による。</p> <p>(1) 局部震害法による建築設備機器の設計用標準水平震度(Ks)</p> <p>(2) 地域震害度は1.0とする。</p> <p>(3) 自重が100kg以下の比較的軽量の機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)の取付については、取付下地を入念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承認を受ける。</p> <p>(4) 配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。</p> <p>(5) 機器の耐震計算書を提出すること。</p> <p>重量1kgN(100kg)以上のアンカー取付機器 ※ 盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水櫃類、その他監督員が指示するもの。</p>
4. 施工	<p>(1) 塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定色で2回塗りとする。 ● 金属質、2種金属繊維、吊りボルト、支持具等鋼板製(SUS、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く)は原則として塗装を施すこと。 <p>(2) 行先表示等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。 <p>(3) セパレータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 <p>(4) 保護キャップ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ(おおよそ2m以下)にある場合は保護キャップを取り付けること。 <p>(5) 地中埋設配管及び埋設表示坑・シート</p> <p>(6) 防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。</p>
5. その他	<p>(1) 使用機械</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 <p>(2) 測定機器の校正記録</p> <p>工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。</p>

工事範囲	
● 電気方式 種別	● 三相3線式(200/100V) ● 単相2線式 ● 100V ● 200V ○ () V
工事範囲	● 配管 ● 配線 ● 機器取付 ○ 動力機器の試運転調整 ○ 消防立ち回し試験 ○ 自火報知合盤の取替、感知器撤去 ○ 電話受け口の改修 ○
配線器具	● 特別なものを除き大角型とする
プレート	● 新金属 ○ ステンレス ○ フルカラー() ● ワイド
照明器具	● LED器具を優先とする。 ○ バイブりの照明器具は振れ止めを施工する。
● 工事範囲	● 配管 ● 配線 ● 機器取付
種 別	○ 住宅用 ○ 業務用 ○ 集合住宅 ○ ナースコール ● 身障者呼出装置
通信方式	○ 交互通話 ○ 親子式 ○ 同時通話
附属機能	○ 電気錠解錠 ○ ガス漏れ警報 ○ 非常呼び
その他	
● 自火報知合盤	● 配管 ● 配線 ● 機器取付
種 別	● 感知器 ○ 自火報知合盤の取替、感知器撤去 ● 消防立ち回し試験
その他	

電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト

分類	資機材名	適用範囲	規格・メーカー等
電線	電線、ケーブル類(エコ電線・ケーブルを優先使用)	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	● JIS規格適合品 ● JCS(日本電線工業会規格)規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	● JIS規格適合品
耐火、耐熱電線	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	● 登録認定機関(社)電線総合技術センター)または指定認定機関(社)日本電線工業会(耐火・耐熱電線認定業務委員会)により認定または評定されたもの ● (社)日本電線工業会により自主認定(評定)されたもの
		任意端子挿入用スリーブ	● JIS規格適合品
電線保護物類	金属管、VE、PE、HIVE、FEP、GD、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付製品	一般配線工事に使用するもの	● JIS規格適合品 ● JIS規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用するもの	● JIS規格適合品 ● JIS規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	省エネ型を優先使用)		● JIS規格適合品 ● (社)日本照明器具工業会標準(JIL規格)適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
盤類	分電盤、変換盤		● JIS規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	制御盤		● (社)日本配電制御システム工業会規格(JSIA)適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
自動火災報知装置	感知器、受信機、中継器、受信機、漏電火災警報器		● 登録認定機関(日本消防検定協会)の検定を受け、検定合格証書が貼付されたもの

注 ・「JIS規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示(製品・包装の外蓋、容器の外蓋、結束帯札ごとの納品書にJISマーク表示、またはJIS規格証明書等の添付)のあるものをいう。

・「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官庁官庁整備部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(電気設備機材・機械設備機材)」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期限内にある場合にのみ有効とする。

・「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承認が得られた場合のみ使用できるものとする。

・特殊仕様や資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承認が得られた場合のみ使用できるものとする。

凡 例

記号	名 称	備 考	記号	名 称	備 考
	電灯分電盤		● ~ ●	スイッチ 1P15A×1~6	ワイドプレート
	動力分電盤		● 3、● 4	3W15A、4W15A	※
	接地機		● 2	コンセント 2P15A×1、2P15A×2	※
	手元開閉器		● E	2P15A、E×2+E、T	※
	照明器具 天井取付	器具要図参照	●	テレビ受け口(75Ω)	新金属プレート
	壁付け	※	○	インターホン	※
	天井換気扇、壁付け換気扇(設備工事)		[N]	叫出表示盤(1型)	別図参照
			[H]	トイレ呼び出し器	※
			◎	廊下灯	※
			◎	復旧印	※

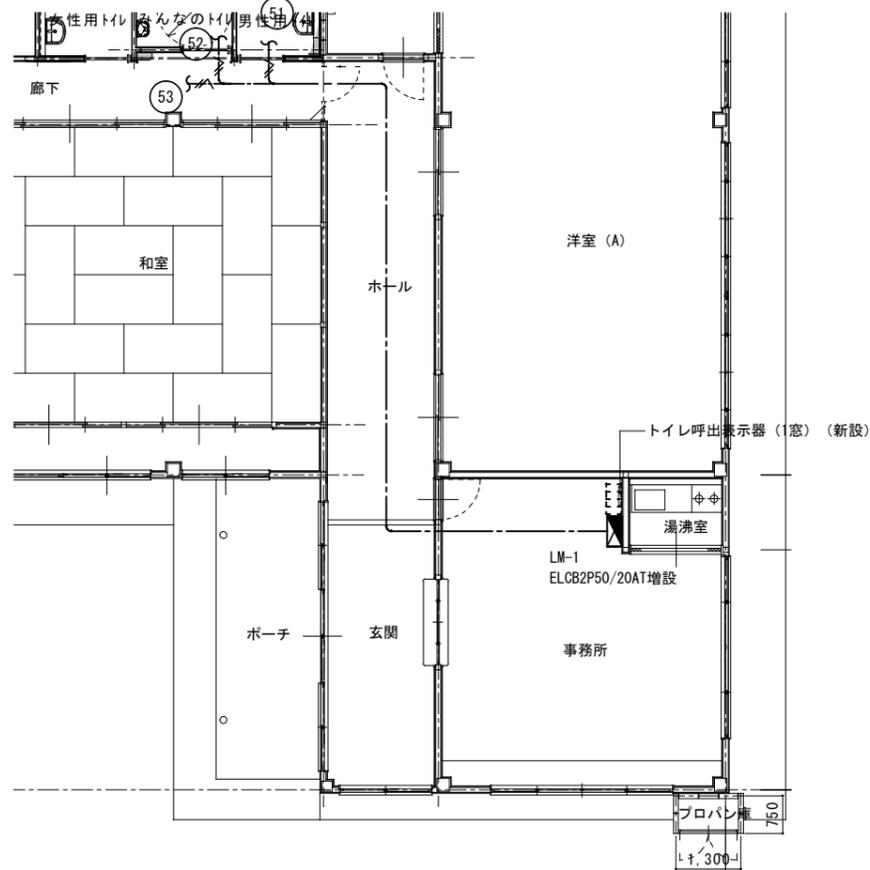
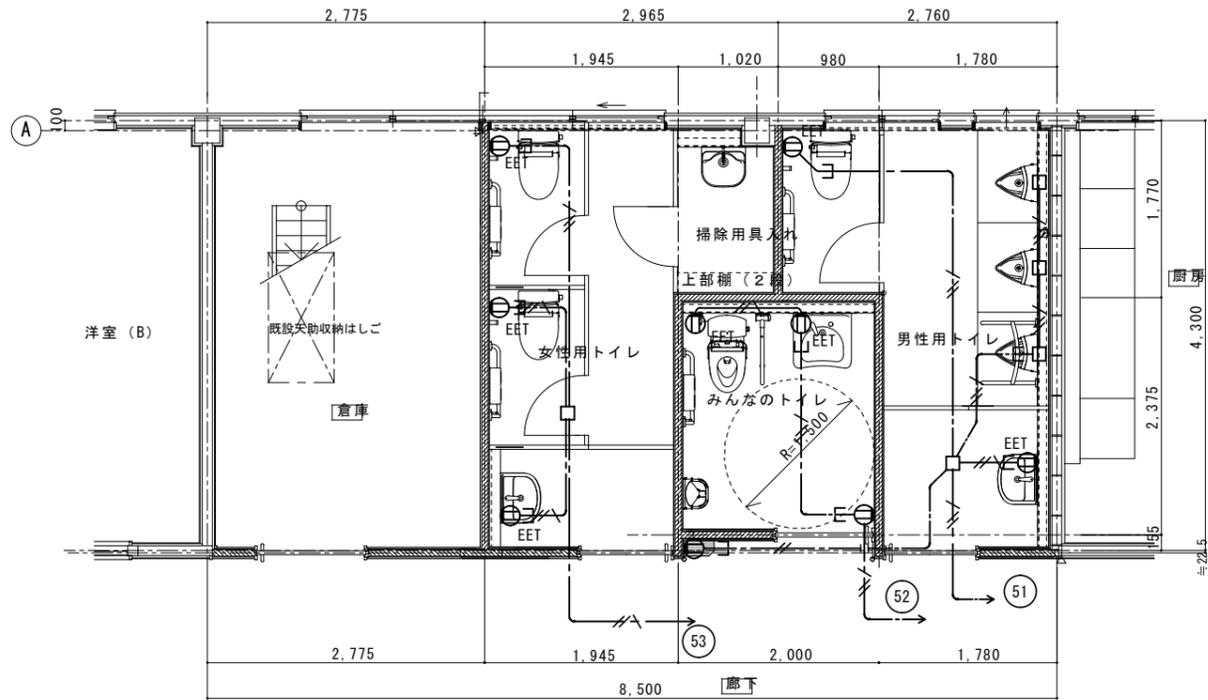
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 改修工事特記仕様書(電気) 縮尺

E

1

改修後 平面詳細図



平面図 S:1/100

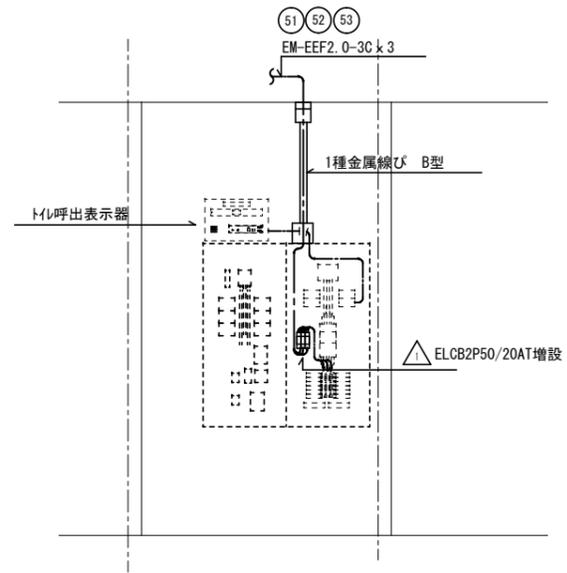
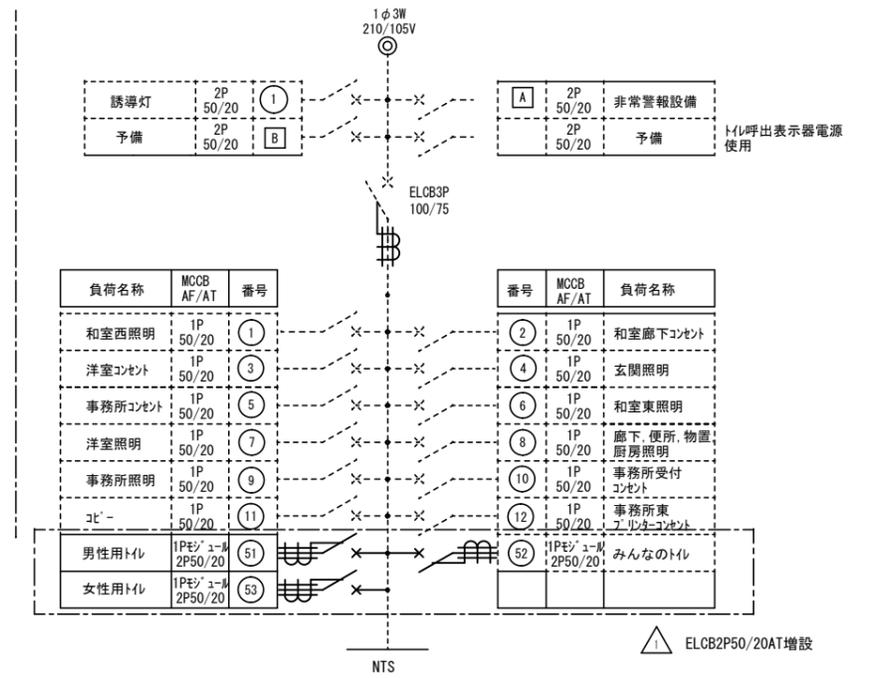
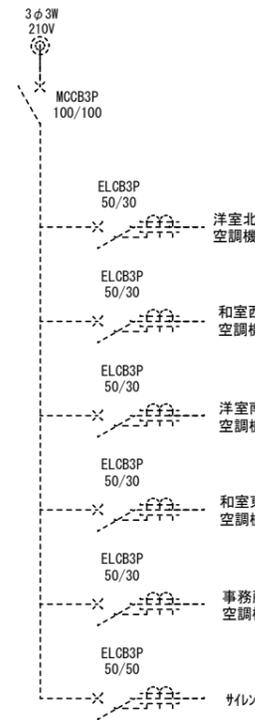
1・特記なき配管配線は下記による。

	: EM-EEF2, 0-3C (1C=E) (PF22)
	: EM-EEF2, 0-3C (1C=E) (PF22)
	: EM-EEF2, 0-2C (PF22)

二重天井内はケーブルころがしとし立上げ、立下げ箇所は配管保護のこと

記号	名称	備考
	電灯・動力分電盤	
	壁付けコンセント 2P15Ax2	
	壁付けコンセント 2P15Ax1, 接地極, 接地端子付	

LM-1 既設電灯・動力盤



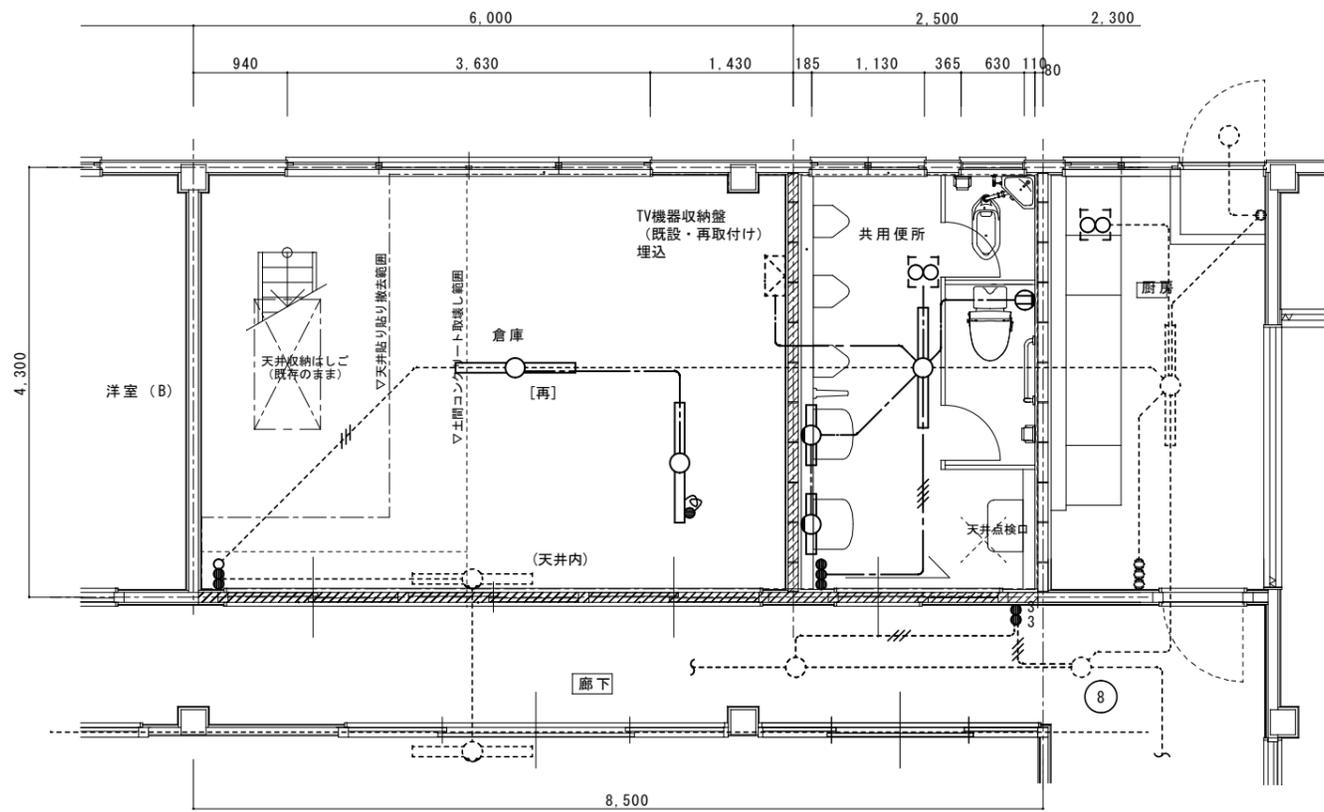
既設分電盤LM-1内部機器配置図

件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

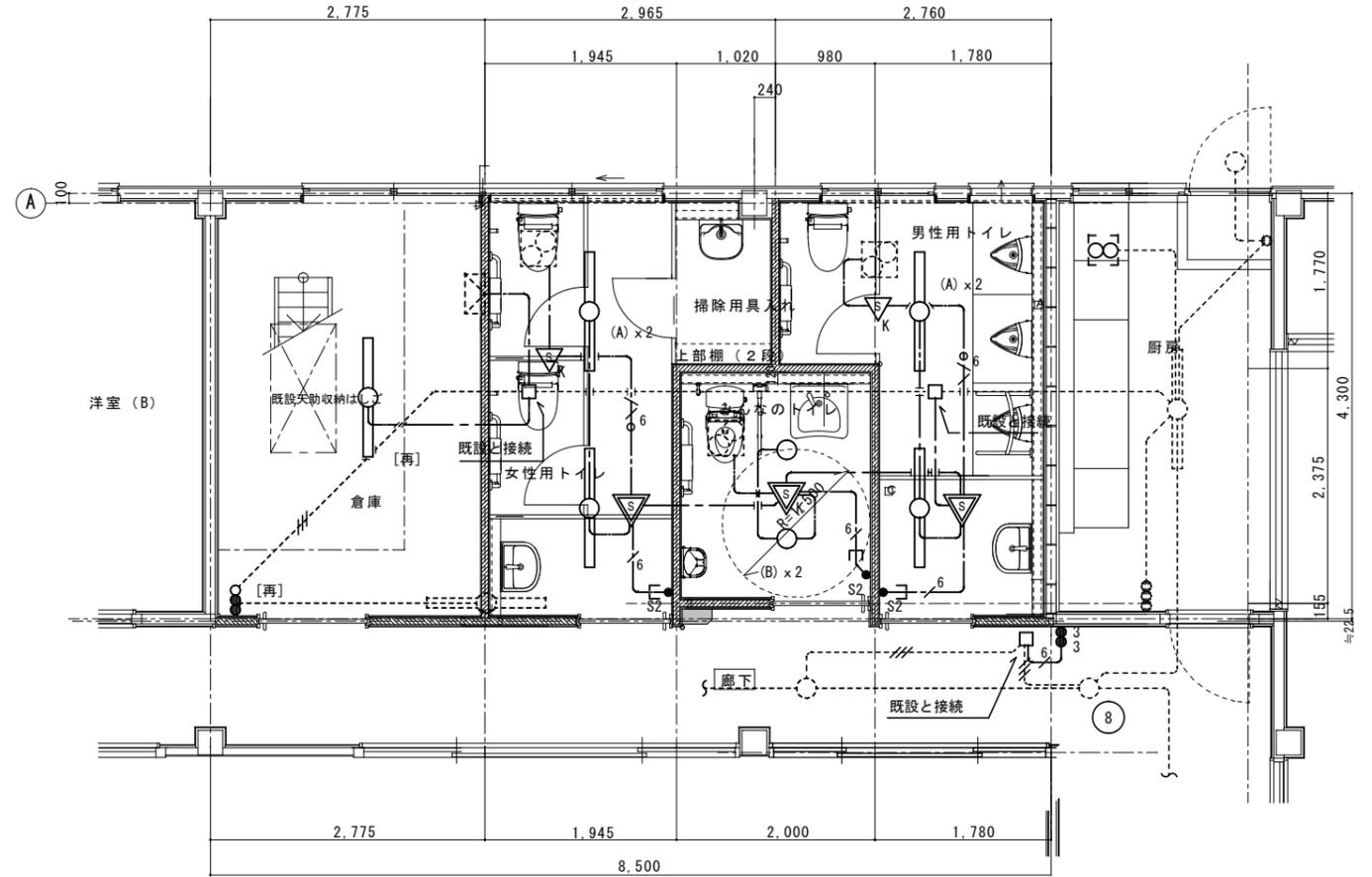
図名 コンセント設備 平面詳細図(改修前・後)

縮尺 1:50 (A2)
1:70 (A3)

改修前 平面詳細図



改修後 平面詳細図



器具リスト

室名	型式	ランプ	台数	備考
倉庫	直付灯	FL40Wx1	2	撤去(1灯再使用)
共用便所	壁付灯	FL20W	2	撤去
	直付灯	FL40Wx1	1	撤去

1・特記なき配管配線は下記による。

---	: VVF1.6-2C	撤去
---	: VVF1.6-2C x 2	撤去
---	破線	既設を示す。

1・特記なき配管配線は下記による。

---	: EM-EEF1.6-3C(1C=E)	(PF16)
---	: EM-EEF2.0-2C	(PF22)
---	: EM-EEF1.6-3Cx2	(PF22)
---	: EM-EEF1.6-3Cx2 +1.6-2C	

二重天井内はケーブルがしとしし立上げ、立下げ箇所は配管保護のこと

凡例

記号	名称	備考
●3	タンブラースイッチ 3W15A	
○	LED 照明器具	
○	LEDダウライツ	
▽	人感センサー式自動スイッチ	親機 K=換気扇連動
▽/K	人感センサー式自動スイッチ	子機 (換気扇連動)
●S2	操作ユニット	2回路
□	換気扇	設備工事

照明器具姿図

LED 直付天井灯		LED ダウライツ	
A	LED22W以下 3,000lm以上3,300lm以下	B	LED9W以下 800lm以上1300lm以下
使用場所	トイレ	使用場所	みんなのトイレ
品番	LSS9-4-30	品番	LRS1-08

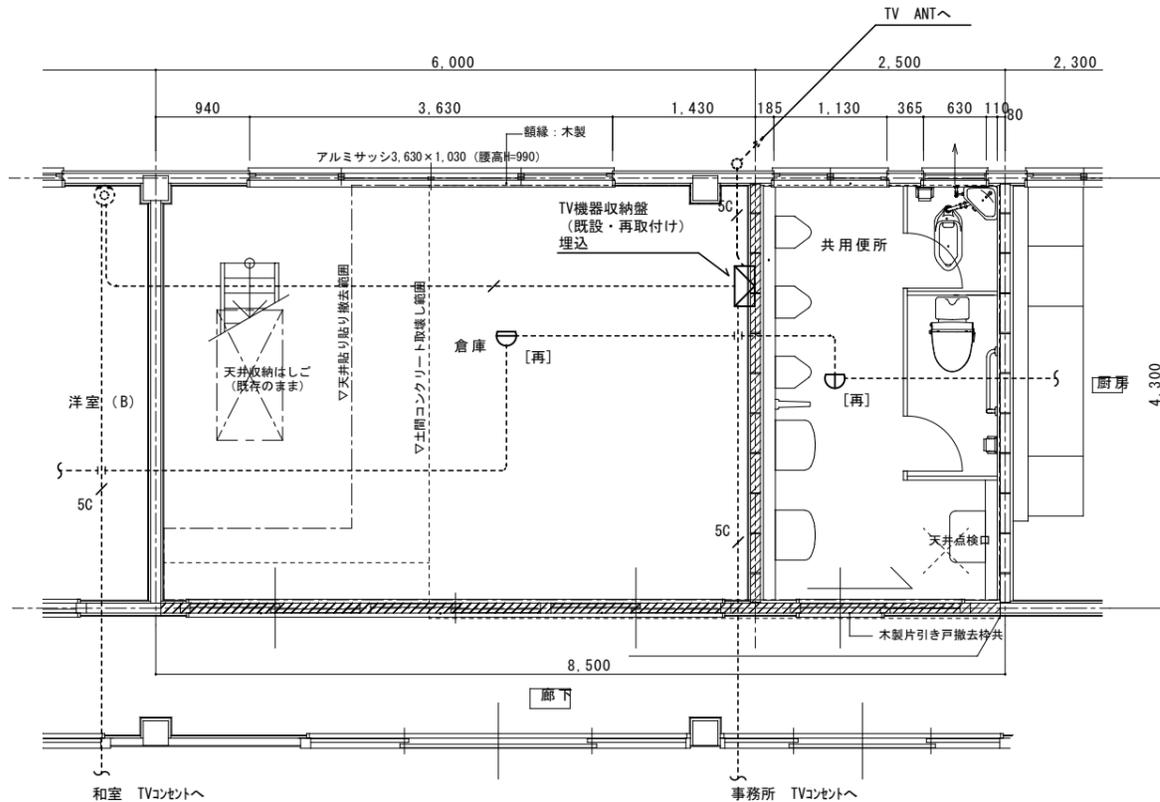
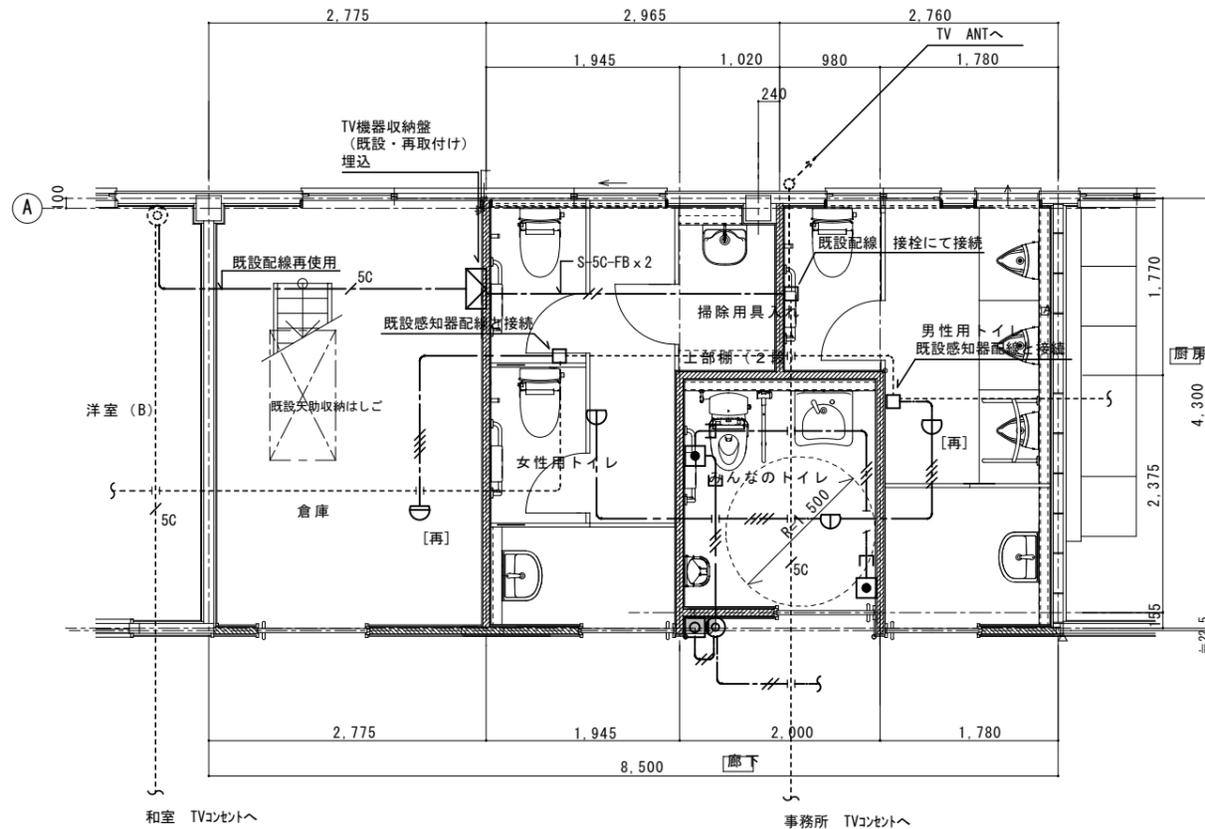
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 電灯設備 平面詳細図(改修前・後)

縮尺 1:50 (A2)
1:70 (A3)

E

3



<p>電源電圧 AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V) 形状 壁取付形 材質 SPCC t1.2 窓数 1窓 表示方式 呼出音と表示窓点灯 71年 CBN-1C 相当品</p>	<p>形状 壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス) 材質 自己消火性樹脂 備考 引きひも式、押しボタン式両用 71年 NBR-7HWA 相当品</p>
<p>形状 壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス) 材質 樹脂 備考 非防水形 71年 NBR-2A-C 相当品</p>	<p>形状 壁埋込型 (JIS2個用スイッチボックス) 材質 プレート:自己消火性樹脂 表示灯 シンガマ・リカネート 表示灯 赤色LED 備考 プザ-付 71年 NR-BZLB27 相当品</p>

1・特記なき配管配線は下記による。

誘導支援設備	—//—	: EM-AE1.2-2C (PF16)
	—//—	: EM-AE1.2-3C (PF16)
テレビ共聴設備	—5C—	: S-5C-FB 既設ケーブル
自動火災報知設備	—//—	: EM-AE1.2-4C

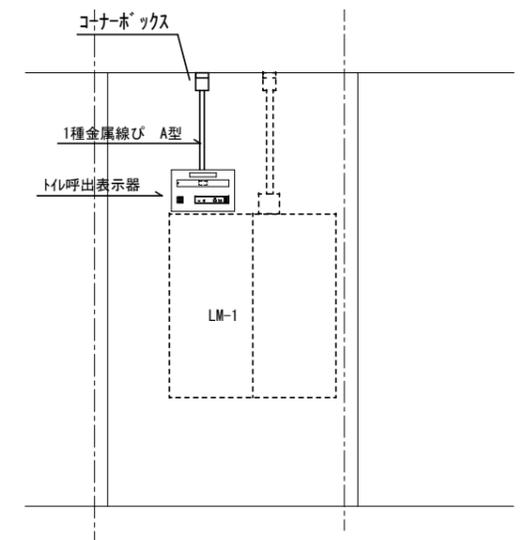
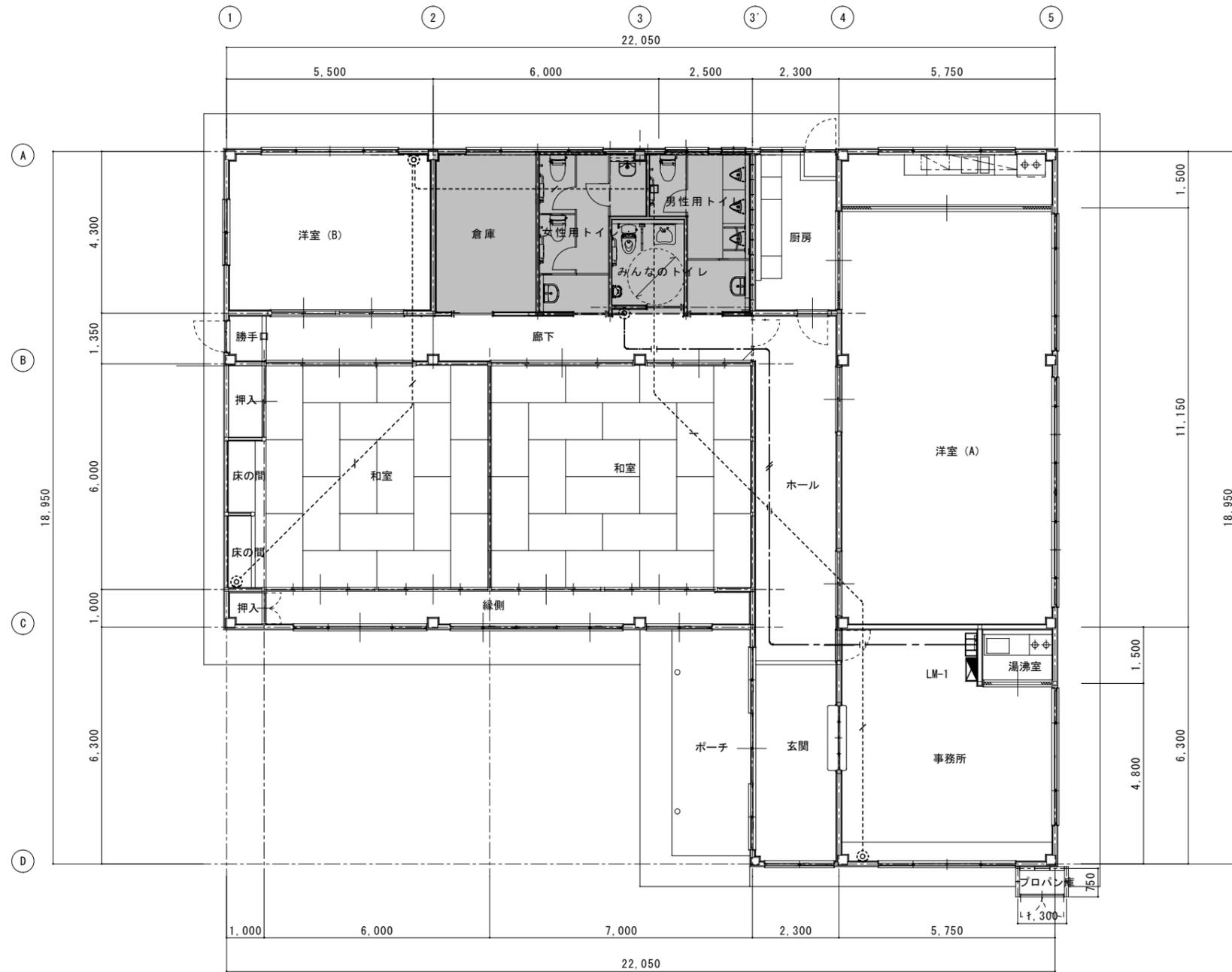
二重天井内はケーブルがごとし立上げ、立下げ箇所は配管保護のこと —E—

-----	破線	既設を示す。
-------	----	--------

記号	名称	備考
●	呼出ボタン	引きひも付
◎	廊下表示灯	プザ-付
□	復旧ボタン	
▭	テレビ呼出表示器	事務室 設置
⊞	TV機器収納盤	既設 移設・再使用
⊙	テレビコンセント	既設
∪	定温式スポット型感知器1種防水	[再]=撤去再使用を示す
∩	差動式スポット型感知器2種	[再]=撤去再使用を示す

件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 弱電設備 平面詳細図(改修前・後) 縮尺 1:50 (A2) 1:70 (A3)



事務所 展開図 S:1/30

件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 弱電設備 改修後 全体平面図

縮尺 1:100 (A2)
1:141 (A3)

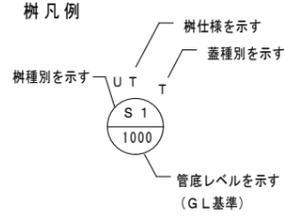
E

5

機械設備工事特記仕様 (○印を付けたものを適用する。)		工事種別 (○印を付けたものを適用する。)				給湯設備		ダクト設備											
建築概要 工事名称 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事 工事場所 伊賀市 神戸 地内 <table border="1"> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延面積 (㎡)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>市民センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	備考	市民センター					給排水衛生設備 ・給水設備 ○ ・排水設備 ○ ・衛生器具設備 ○ ・給湯設備 ・ガス設備 ・消火設備 ・ろ過設備 ・浄化槽設備 ・空調設備 ・機器設備 ・配管設備 ・ダクト設備 ・換気設備 ○ ・排煙設備 ・自動制御設備				給湯方式 ・中央式 ・ボイラー ・温水機 ・ガス給湯器 ・エコ給湯機 ・局所式 ・ガス給湯機 ・瞬間湯沸器 ・電気温水器 配管材料 ・銅管 (・M・L) ・被覆銅管 (・M・L) ・ステンレス鋼管 ・耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (土中、暗渠) ・耐熱性硬質塩化ビニル管 ・さや管工法 (・架橋ボリ管 (被覆)) 燃料 ・都市ガス ・LPG ・灯油 ・A重油 ・電気		・風道 ・低速風道 ・高速風道 ・風道材質 ・亜鉛鉄板 ・塩化ビニルライニング鋼板 ・ステンレス板 ・消音フレキ ・フレキシブルダクト ・吹出口・吸込口の材質 ・アルミニウム製 ・鋼板製 (指定色焼付塗装) ・塩化ビニル管 (VU) 多湿箇所 ・その他	
建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	備考															
市民センター																			
一般事項 適用仕様書 ・日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」 ・空気調和・衛生工学会規格「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」 ○国土交通大臣官庁官庁管轄部監修「機械設備工事共通仕様書」平成31年度版 (但し機器類は除く) 優先順位 1. 現場説明事項、質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書 申請手続 工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは該負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。 疑義 設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納り不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議すること。 変更 設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。 完成図書 工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出すること。		給水設備 ○給水方式 ○水道直結式 高架水槽式 (市水) 圧送方式 (圧力タンク 回転制御) 受水槽 本体 ・FRP製 ・一体型 (・複合板 ・単板) ・パネル型 (・複合板 ・単板) ・ステンレス製 ・一体型 ・パネル型 ・鋼板 ・一体型 ・パネル型 高置水槽 本体 ・FRP製 ・一体型 (・複合板 ・単板) ・パネル型 (・複合板 ・単板) ・ステンレス製 ・一体型 ・パネル型 ○配管材料 ○ライニング鋼管 (隠蔽部) (○VA・VB・VD・PA) ・ライニング鋼管 (・VA・VB・VD・PA) ・屋内暗渠 (・VD・PD) ○塩化ビニル管 (地中) (○HI・VP ・ボリ管) ・さや管工法 (・架橋ボリ管 (被覆) 居室分岐部及び埋設部直結部分) ○水道業者指定品 その他の部分 ・JIS 5kgf/cm ² ○JIS 10kgf/cm ² ・貸与品 ・買取り (私設) ○水栓 ○水栓は節水コマとする。 ○引込加入、市納金等 ・要 (・別途工事 ・本工事) ○不要 その他				ガス設備 ガスの種別 ・都市ガス (種別 13A 発熱量11,000 kcal/m ³ 供給事業者名) ・液化石油ガス (発熱量 12,000kcal/kg) 配管材料 ・配管用炭素鋼管 (白) ・ビニル被覆鋼管 (地中埋設部) ・ポリエチレン管 (屋外地中埋設部) ・供給事業者の仕様による。 ・別途 ・本工事 ポンペ ポンペ (・10 Kg ・20 ・50 Kg ・バルク) 本数 (3+3本) 転倒防止鎖等 (・本工事 ・別途工事) ・要 (・電気式 ・温水) ・不要 ・貸与品 ・買取り ・本工事 ・別途工事 ・一般形 ・自動遮断弁付 ・要 (・別途工事 ・本工事) ・不要 ・その他		換気設備 ○換気方式 ○局所 ・中央 ○風道 ○低速風道 ・高速風道 ○風道材質 ・亜鉛鉄板 ・塩化ビニルライニング鋼板 ・ステンレス板 (屋外部) ・塩化ビニル管 (VU) 多湿箇所 ○スバイラルダクト ・吹出口・吸込口の材質 ダクトの当該項目による。 ・耐火被覆 ・湯室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。 ・その他 ・厨房内換気ダクト、外気取り入れダクトは断熱のこと ・厨房排気ダクトはハゼ部シール処理のこと											
耐震基準 日本建築センター編「建築設備耐震設計・施工指針」によること。		排水設備 ○排水方式 屋内 分流方式 ○合流方式 屋外 分流方式 ○合流方式 雨水 ○分流方式 合流方式 汚水 ○下水管 浄化槽 合併処理槽 既設槽 雑排水 ○下水管 合併処理槽 側溝又は河川 既設槽 雨水 下水管 調整池 側溝又は河川 既設槽 ○配管材料 屋内汚水管 ・ラバージョイント形排水鋼鉄管 ・コーティング鋼管 (可とう継手又はMD継手) ○硬質塩化ビニル管 (VP) ・耐火被覆ビニル管 ・配管用炭素鋼管 (白) 機械廻り ・コーティング鋼管 (可とう継手又はMD継手) ○硬質塩化ビニル管 (VP) ・耐火被覆ビニル管 (HT) ・配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管 (VP) ・耐火被覆ビニル管 屋外排水管 ・遠心力鉄筋コンクリート管 (外圧管・2種 ・1種) ○硬質塩化ビニル管 (VP) ・硬質塩化ビニル管 (VU) 150A以上 ○鋼 ○公団形 (B種) ・現場打 ・市販鋼 ○小口径 ・ビニル鋼 ○下水納付金等 ・要 (・別途工事 ・本工事) ○不要 その他 各階に伸縮継手取付				消火設備 消火設備の種類 ・屋内消火栓 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー消火 ・特定施設SP ・粉末消火 ・連結送水管 ・連結給水管 ・移動粉末消火 ・フード消火 ・粉末強化液 ・採水設備 ・消火器 ・送水消火栓 ・屋外消火栓箱 ・HB-21 ・HB-22 ・連結送水管 ・HB-11A・B ・HB-12A・B ・配管材料 ・鋼管 (・JISG3452 ・JISG3454) ・SGP-VS ・消火栓弁 10kgf/cm ² ・その他 ・消火栓箱は指定色焼付塗装とする。		排煙設備 ・風道材質 ・亜鉛鉄板 ・普通鋼板 (厚1.6mm) ・排煙口の形式 ・天井取付 (・スリット形 ・スイング形) ・排煙口開放装置 ・手動 ・手動及び遠隔操作可能なもの ・復帰方法 ・遠隔形 ・手元形 ・排煙風量測定 ・建築設備定期検査業務指導書 (日本建築設備安全センター) の排煙風量の検査方式に準ずる。 ・その他											
特記事項 ○地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示板、埋設シートを布設する。 ○重量機器及び器具は吊りポルトにて壁面に取り付けること。 ○機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。 ○防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づき材料を使用すること。 ○建物導入配管 (給水、ガス、消火) は充分な可撓性を有する変位吸収配管施工をおこなう。 ○水密を要する部分を除きスリーブに用いる材料は、紙製等の型枠を使用することができる。 ○排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。 ・振動の伝播を防ぐ必要のある配管及び強制循環する水配管で管径65φ以上の配管には、防振吊り金物又は防振支持金物を設けるものとする。 ○既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 ○土間配管は土間筋に吊り下げなど埋設配管を保持するようにする。 ・屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビッチ等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 ○系統が分かるように、必要箇所 (機械室、PS内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付をおこなう。 ○機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。		浄化槽設備 ・方式、容量 ・単独 ・合併 算定人員 15人槽 ・材質 ・FRP製 ・コンクリート既成管 ・RC製体 ・補強スラブ ・要 ・その他		自動制御設備 ・制御方式 ・電子 ・電気 ・空気 ・その他															
共通事項 保温工事 ・保温施工範囲は共通仕様書による。 ○保温施工種別 ・共通仕様書による。 ○下表による。(但し機器、煙道は共通仕様書による)		衛生器具設備 ○大便器洗浄方式 ・FV (・節水形 ・低圧式) ○洗浄タンク ○水栓 ○節水コマ (泡沬式は除く) ・普通コマ ・その他 ・和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける				メーカーリスト 下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。													
保温材の厚さ ○下表による (但し機器、煙道は共通仕様書による) 80A以下 20mm 給排水管 給湯管 温水管 ドレン管 100-150A 25mm 消火管 (但し屋外のみ) 200A以上 40mm 25A以下 30mm 冷水管 冷温水管 32-200A 40mm 250A以上 50mm		浄化槽 ・熱源機器 ・冷温水発生機 ・チラー (・空冷HP ・空冷 ・水冷HP ・水冷) ・温水ボイラー ・水蓄熱 ・放熱器 ・空冷HPパッケージ ・ガスHPパッケージ ・FCU ・AHU ・その他		配管設備 ・配管方式 ・冷媒配管 ・冷温水配管 ・冷却水配管 ・温水配管 ・配管材料 ・冷媒管 ・冷媒用鋼管 ・冷媒用被覆鋼管 ・冷温水管 ・配管用炭素鋼管 (白) ・耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・冷水、温水管 ・配管用炭素鋼管 (白) ・耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (暗渠) ・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管 ・断熱ホース ・油管 ・配管用炭素鋼管 (黒) ・外面被覆被覆鋼管 ・蒸気管 ・配管用炭素鋼管 (黒) ・蒸気ダクト ・JIS 5kgf/cm ² ・JIS 10kgf/cm ² ・井類 呼び径100A以上の井は係員と協議のうえバタフライ井を使用して下さい。		分類 管 継手共 青銅弁・鋼鉄弁 JISマーク表示品 保温材 RW、GW保温材 JISマーク表示品 ポンプ ポンプ類 評価事業名簿による 衛生器具 衛生器具・水栓 JISマーク表示品 (規格以外) INAX 東陶機器 水栓 FRP製 積水プラント 日立化成 フリジストン 三菱樹脂 鋼鉄パネル 積水プラント フリジストン 鋼鉄 (公団型) 協和コンクリート 桑名工業 昭和工業 ネオジオ 丸八産業 鋼鉄製品 オオタカ カネソウ ダイドレ 中部 雨濤 福西 ホクキャスト 鋼鉄製蓋 鋼鉄製蓋 評価事業名簿による 量水器 量水器 愛知時計 金門製作所 リコー機器 ガス器具 ガス配管器具 伊藤工業 桂精機 藤井合金 富士工業 ガス給湯器 (都市ガス) ガス供給者の承認する製造者の製品 厨房器具 「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による証書を付したものの アイホー コメットカトク サンキュー トーヨー 日本調理機 フジマック ガス管継 ガス管報システム 金門製作所 富士工業 富士電機 松下電工 矢崎総業 減速装置 減速器 三協 三進 サンケイ 藤アークアル 減速器 確打 オアヤックス 水道機工 日本音速 消火設備 立売煙製作所 岸本産業 北浦製作所 村上製作所 横井製作所 消火栓ホース 日本消防検定協会の合格表示品 スプリンクラー・消火器 ノーミ ニットン 日本ドライケミカル 能美防災 ホーテキ 特殊ガス消火 川重防災 セコム 日昭 林テクノス 日信防災 ニットン 能美防災 浄化槽 合併浄化槽 (RC造) LIXIL 西原ネオ 日本理化 合併・単独浄化槽 (FRP製) 建設大臣型式認定品 クリーントイレ LIXIL 積水化学 ネボン 日立化成 松下電器産業 ロンシール グリス・ガソリントラップ カネソウ 栗本 下田機工 積水プラントシステム 特殊ガス設備 川重防災 セントラルユニ 田中製作所 テイサン 製造類 製缶部、熱交換器 島倉鉄工 成島鉄工 ベルテクノ ホーコス 森松工業 温水機 昭和鉄工 高尾鉄工 タクマ 前田鉄工 三浦 電気温水機 愛知電機 東芝 日本イミミック 松下電器産業 三菱電機 石川島汎用ボイラー 高尾鉄工 たくま 前田鉄工 昭和鉄工 巴商会 前田鉄工 愛知電機 石川島汎用ボイラー 荏原ボイラー クボタ 昭和鉄工 巴商会 冷媒機 罐製製作所 川崎工業 クボタ 三洋電機 ダイキン工業 日立製作所 三菱重工業 小型冷温水発生機 荏原製作所 三洋電機 東芝 日立製作所 松下電器産業 矢崎総業 冷媒機 荏原製作所 川重冷熱工業 クボタ ダイキン工業 日立製作所 三菱重工業 三菱電機 パッケージ型空調機 ダイキン工業 東芝 三菱電機 空気調和機 ユニット型空調機と機 評価事業名簿による 換気機 ファンコイルユニット 評価事業名簿による 防振装置 フランコンバクター 評価事業名簿による 防振装置 防振材・防振装置 在野シック 空研工業 三菱樹脂 加湿器 倉敷化工 高砂ゴム 特許機器 フリジストン 明治ゴム化成 ウェットマスター ビーエス工業 山武計装 送風機類 送風機類 評価事業名簿による 換気扇類 換気扇類 栗田工業 東芝 日立製作所 松下電器産業 三菱電機 全熱交換器 全熱交換器 評価事業名簿による エアフィルター 評価事業名簿による 吹出口・吸込口 空研工業 新晃工業 トーキン 錦興業 風量ユニットCAV、V ⅡVコンスターク クボタ 新晃工業 東プレ 亜鉛鉄板 JIS規格品 ステンレス鋼板 JIS規格品 スバイラルダクト 大阪ラセン管工業 栗本 泰弘 富士空調工業 フジモリ産業 フレキダクト プライ美業 オーツカ 栗本 自動制御 トキメックランディスギア 山武ハネウェル 横河ジョンソンコントロールズ													

樹 仕 様

種 別	記 号	樹 寸 法	樹 寸 法	備 考
小 口 径 イ ン パ ー ト 樹	S-2	200φ	密 閉 型 200φ	記号 ○
記号・D → MHD蓋 ・A → MHA蓋 ・B → MHB蓋 ・格子 → 格子蓋 ・化粧 → 化粧蓋+MHB蓋 ・トラップ → トラップ樹・ドロップ → ドロップ樹・T → 鋳鉄製蓋 (T-8)・表記なし → 塩ビ製蓋 (鎖付き)・格子 → 格子蓋				



換 気 機 器 表

機器番号	機器名称	形 式 ・ 仕 様	電 気 容 量		台 数	設 置 場 所 及 び 備 考
			電 源 (φ-V)	送 風 機 (W)		
V-1	天井扇	形 式 低騒音形 風 量 250 m ³ /h 45 Pa 付属品 深型フード (指定色塗装)、他一式	1-100	29.5	2	男子、女子用トイレ
V-2	天井扇	形 式 低騒音形 風 量 140 m ³ /h 40 Pa 付属品 深型フード (指定色塗装)、他一式	1-100	17.5	1	みんなのトイレ
注記 消費電力は参考とする						

衛 生 器 具 表

器具名称	参考品番	付属品 他一式共	男性用 トイレ	女性用 トイレ	みんなの トイレ	掃除用具 入れ				合 計
小便器	U-A51AP	100V	3							3
洋風壁掛便器 (掃除口付)	BC-P110SMA	DQ-PA150CH・CW-PA111FQE-NE・CF-020-SET	1	2						3
車椅子対応壁掛便器 (高座面)	BC-220SK	DT-K250・CW-PC12-NECK-UR・CF-008-1			1					1
棚付二連紙巻器	CF-63HST		1	2	1					4
L型手すり	KF-920AE70D12J		1	2	1					4
はね上げ式手すり	KF-471EH70J				1					1
小便器用手すり	KF-701AEJ		1							1
洗面器	L-176UFCR	AM-300V1・LF-WN7PE・SF-10E・KF-30DN	1	1						2
バリアフリー洗面器	L-365APRS	AM-300CV1・LF-97PA・KF-30DN・SF-10E・KF-24F			1					1
化粧鏡	KF-5075	508×762	1	1	1					3
マルチシンク	S-17	LF-7KRZ-13・SF-25PA・SF-10E・KF-30DN				1				1
フック	YKH22		1	2						3
ベビーキープ	AC-BK-F62				1					1
シートペーパーホルダー	CF-24		1	2						3
注記 器具個数は参考とし各図面確認の上とする。 器具の色柄及び仕様は再度打合せ、協議、承認図を提出の上、決定する事。 器具取付箇所は事前に打合せを行い建築工事にて必要な補強を行う事。										

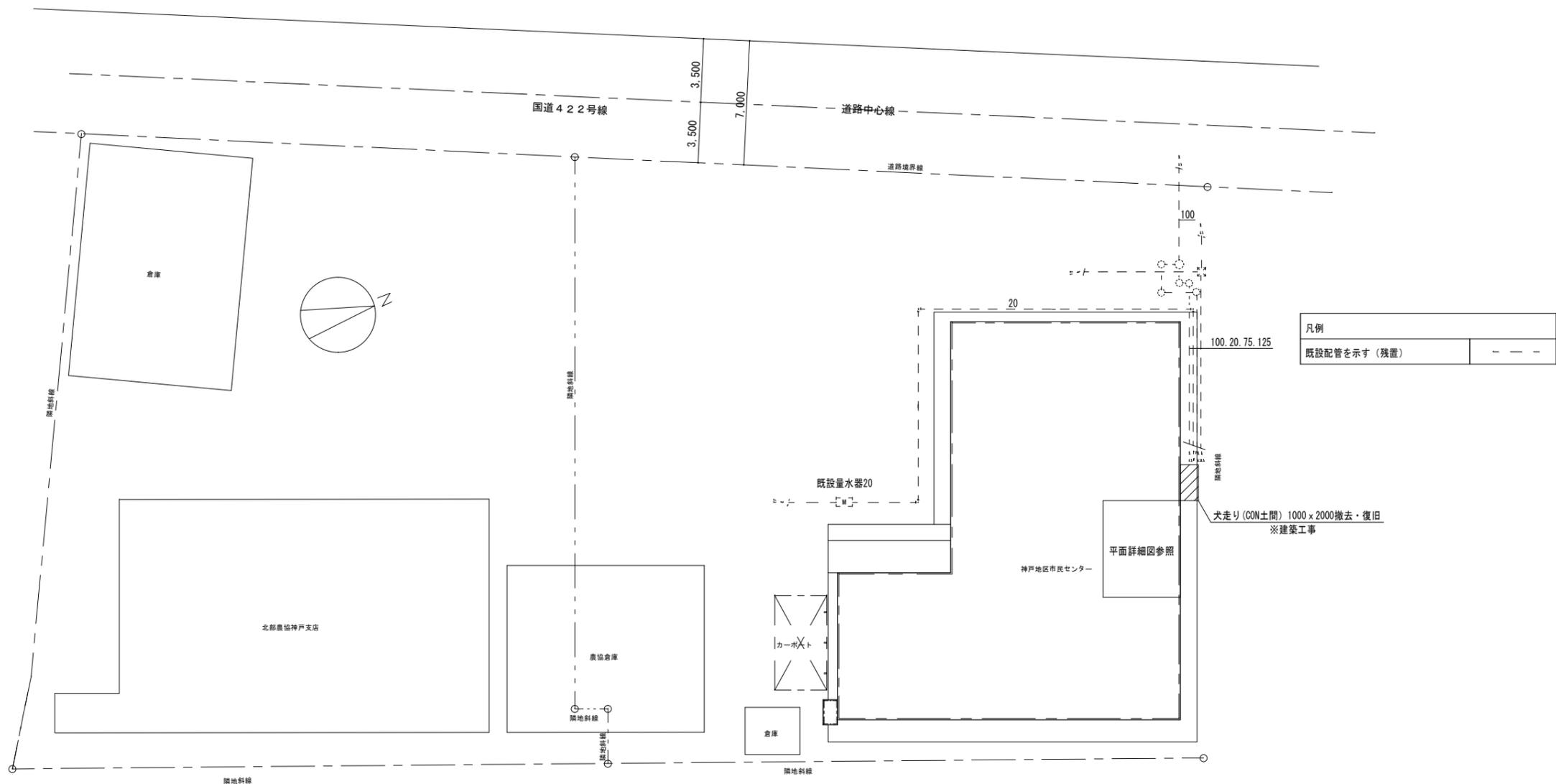
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 機器・器具表

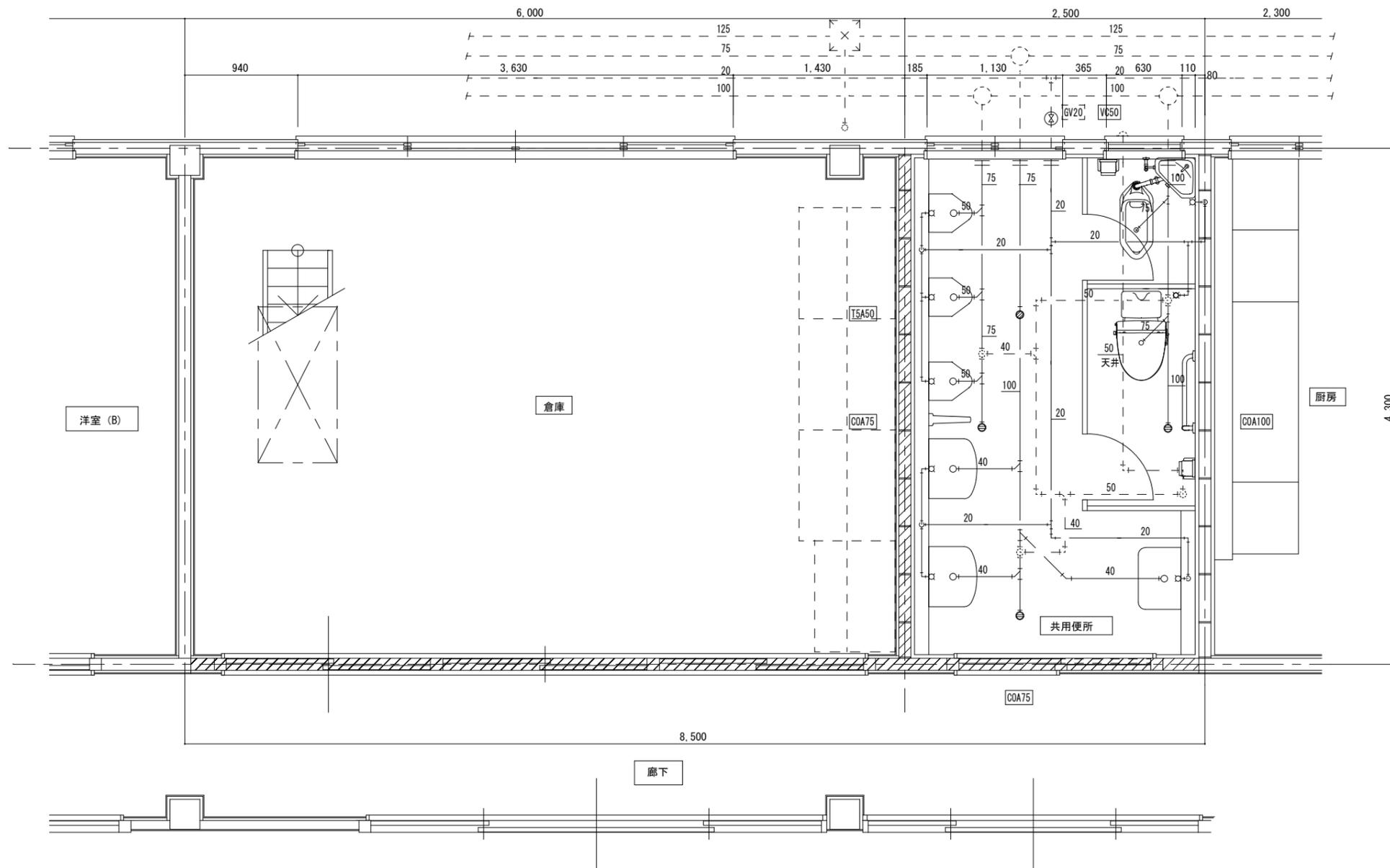
縮尺

M

2



<p>件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事</p> <p>図名 配置図 (給排水衛生設備) 縮尺 1:200 (A2) 1:282 (A3)</p>			<p>M</p> <p>3</p>



既存機器表

和風便器	コナタンク	1	撤去
洋風便器		1	撤去
紙巻器		2	撤去
小便器		3	撤去
手洗い器		3	撤去
手摺		1	撤去
仕切り板		1	撤去

凡例	
既設配管を示す (撤去)	——
既設配管を示す (残置)	- - - -
既設配管切断箇所を示す	=
手はつり箇所を示す	○ ⊠

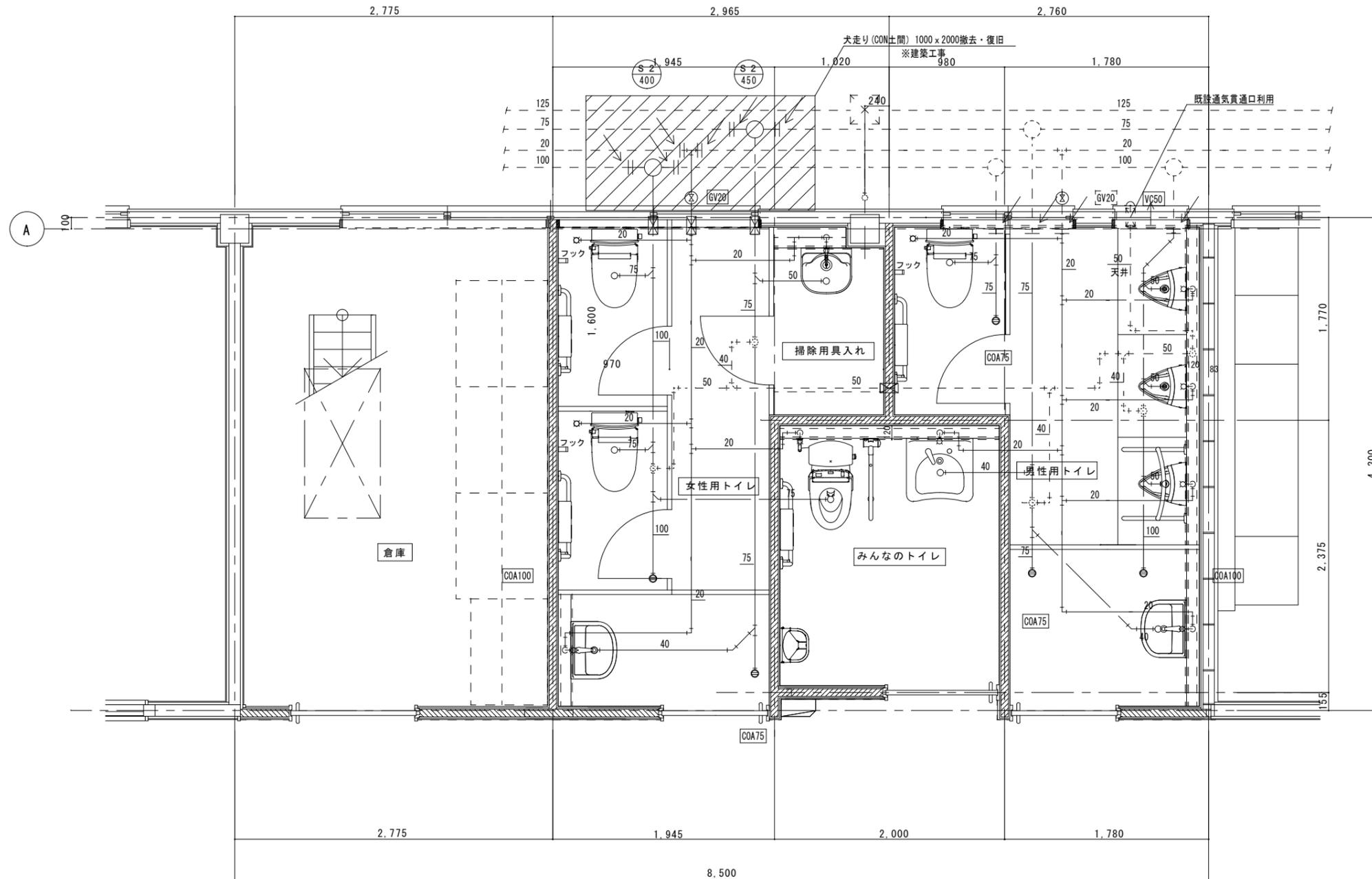
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 現況平面詳細図 (給排水衛生設備)

縮尺 1:30 (A2)
1:42 (A3)

M

4



凡例	
新設配管を示す	—
既設配管を示す	- - -
既設配管切断箇所を示す	→
コア抜き箇所を示す	○ ⊠
既設貫通を示す	○ ⊠

※壁内隠蔽給水管は塩ビライニング鋼管 (VA) とする

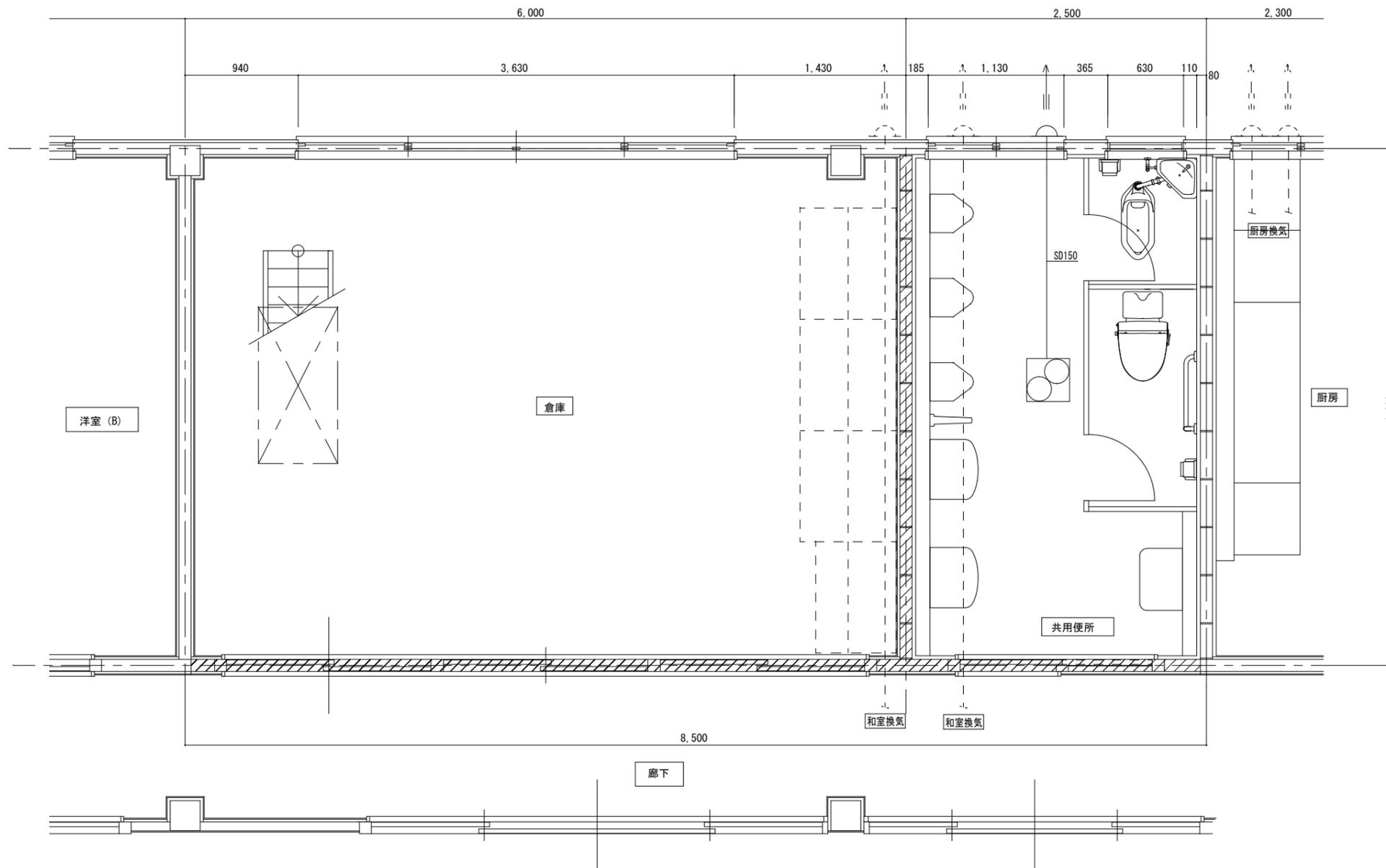
件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 改修後平面詳細図 (給排水衛生設備)

縮尺 1:30 (A2)
1:42 (A3)

M

5



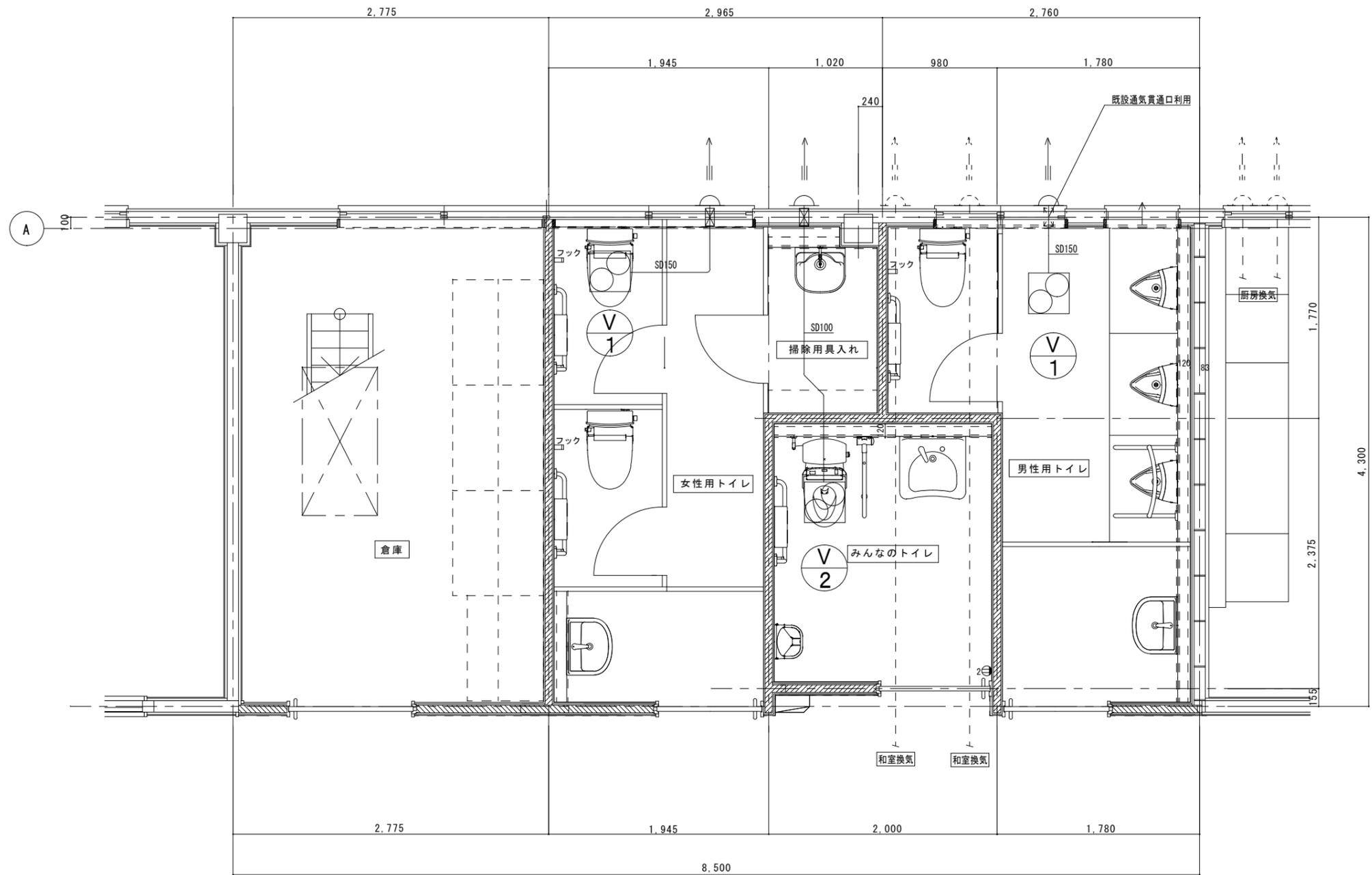
凡例	
既設配管を示す (撤去)	——
既設配管を示す (残置)	- - - -
既設配管切断箇所を示す	=
手はつり箇所を示す	○ ⊠

既存機器表			
天井換気扇	150φ	1	撤去

件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 現況平面詳細図 (換気設備)

縮尺 1:30 (A2)
1:42 (A3)



凡例	
新設配管を示す	—
既設配管を示す	- - -
既設配管切断箇所を示す	→
コア抜きを示す	○ ⊠
既設貫通を示す	○ ⊠

件名 令和3年度 神戸地区市民センター共用トイレ改修工事

図名 改修後平面詳細図 (換気設備)

縮尺 1:30 (A2)
1:42 (A3)